

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-145)、
廃棄物管理施設(120))」
2. 日時：令和6年2月1日(木) 10時00分～12時20分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)
長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、岸野主任安全審査官、羽場崎
主任安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官
日本原燃株式会社
決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他3名
東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 部長
5. 要旨
(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年1月31
日提出資料に基づき、設工認申請の対応状況(次回審査会合での説明事項)
について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。
・審査会合において、敷地の地盤構造の分析方法とその結果を網羅的かつ体
系的に説明できるように整理する。
6. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
7. その他
提出資料
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 令和６年１月３１日
「日本原燃（株）再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	入ろコバヤシイマセ6オカしましょう。
0:00:02	はい。録音開始しました。はい。それではただいまから、日本原燃株式会社とのヒアリングを開始します。本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請のあった。
0:00:13	再処理施設及び廃棄物管理施設の設工認申請について昨日ですね1月31日の資料について確認を行うものです。
0:00:22	まず規制庁側の出席者Webの出席者が、カミデキシノオノ本庁からの出席者会議室ハバサキさん紹介をお願いします。
0:00:33	はい本庁側出席者長谷川管理監コサク調査丹ハバサキ、以上です。
0:00:40	はい。それでは日本原燃から出席者の紹介等資料について説明部分があれば説明をお願いします。
0:00:48	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:00:51	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:55	ケツク、
0:00:56	ノモト、
0:00:58	オガセ、
0:00:59	ヤマグチ、
0:01:01	東電設計様よりウノ様。
0:01:04	WEBから再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:10	それでは昨日ご提出差し上げました資料の、
0:01:14	ご説明の方、よろしく願いいたします。
0:01:17	日本原燃の
0:01:20	技術を持っております介護資料案でございます。で、前回のですねヒアリングで議論、
0:01:28	いました内容を踏まえて構成等々、見直してございます。
0:01:35	皆さんおるんですけれども大きな話としては、ここに出されているところのロジックをもう一度見直した形で、お持ちしていくと。
0:01:45	いうところでございます。ちょっとご承認またいつものご答弁申し訳ないんですけれども若干資料の中にですね荒尾とり切れていないところがありまして、
0:01:56	少しあの辺がテキストボックスが飛んでおったりですとか、それですとかちょっとこれ、これは無償で出ておかないといけないんですけども、緊急用グループの檀バンドウの物性値、これは先ほどのマナベの設定とすると。
0:02:10	いう方針で我々通しまとめていきたいんですけれども、ちょっとこのですね資料の中で、あと平均値を使うかのような表現がですね、ちょっと

	随所に残っておりますこれはちゃんとちょっと案を取って参りたいと思います。
0:02:22	失礼いたしました。
0:02:24	それからですね、全体の話といたしまして、最後のですね 6 ポツの引地の地場の特徴フクマに加工のモデル設定の所でございますけども、この表のところは、
0:02:38	今後の設定方針を、このように設定の検討のですね、方針をこのようにやって参りますと言ったような 1 枚に、そういうふうな形にさせていただきます。
0:02:51	ですね、今ちょっと別紙っていう形で、175 ページ以降に、6 ポツから飛ばすような、そんなちょっと構成で記載しては多いんですけども、実はちょっとこれですね、
0:03:03	これまでちょっと書いておった内容を少し後ろに優先的な形のものが残ってしまっただけなんですけども、これちょっと我々会合では、小コウまでご説明するのは、ちょっと段階的に、
0:03:17	やっぱおかしいかなというふうに思っておりますので、ちょっと教育を受けてはしまったんですけどもここは削除して、介護望みたいというふうに考えているところでございます。ご説明以上でございます。
0:03:30	はい、室長青井です。構成の話で、結局、175 ページ以降の別紙は資料から外すということですか。
0:03:40	はい。次の部分でございますはいそう考えております。
0:03:43	はい。規制庁浜崎です。
0:03:46	そしたらですねちょっと内容に入る呉前に、今、沼尾さんの説明は、今回の資料、一昨日のヒアリングの資料から、
0:03:57	大きく変えたのは 5 ポツの構成のところ、
0:04:01	組み立てのところというお話だったんですけども、
0:04:05	1 ポツ 2 ポツサンボⅡでも、いくつか変更点があるかと思っておりますので、ちょっとそこだけは明確にしといてもらえればと思いますが、
0:04:14	はい。前のことでございます。失礼いたしました。えっとですね、1 ポツのところですね、申し訳ないといけないのは 6 ページ目のところで、
0:04:25	このですね今回の説明のところを丸引きの中で、今回追加で出すデータにつきまして、これがですねそういった後と平仄がとれる形でちゃんとご提示するものが、
0:04:39	見えるように、これを直してございます。これが内容的に大きな修正っていうかなというふうに考えてございます。
0:04:50	で、とですね 2 ポツのところ以降でございますけれども、とですね、

0:04:57	決まっては、とですね、S波検層の元ページご覧いただきましたらばアノシノ513 県ソウノ9 のところに、修正がございますけどもこれちょっと設けておりましたけれども、今回、
0:05:11	3件と企業データのデータの母数含めるということで、これが前回からのある意味、お話の変更点にもデータ変更点にもなりますのでここを明記しているということでございます。
0:05:27	で、それから、12 ページ、10、そうか。
0:05:33	12 ページのですね、ところでございますけれども、1-5Aのところでは離散検層データの既往データについての記載、これアノを追加しているところでございます。
0:05:46	でですね、ここで江藤、ちょっと次がございますのが旧Dたにつきましてこれは叩き方による調査を実施していると。
0:05:56	いうところでございまして、高周波数側の信頼性が保てないという話を入れ、
0:06:05	なされておまして、それに基づく今年度8回ここに記載しているということでございます。
0:06:10	あとですね、3ポツのところではいきますと、衛藤梅本の指導のですねフィーズケーソンに、
0:06:18	根本指導を受けないハシバ表層今ですね、表層地盤の分析等の記載につきまして、これ、えっとですね、周辺にですね、
0:06:30	別のものが混在してるものの基準のところですね、これぜひいたしまして、このですね、周辺の
0:06:40	普通として扱われるものをここにすべて記載することにいたしまして、後で、この
0:06:47	混在してるものの提供を見てこういうふうに判断するという結論のところなんだといったところをさせていただきます。ということも踏まえまして例えば23 ページからは今週というのをどういうふうに扱ってるのかと。
0:07:03	いうご説明を足していると、いうことでございます。
0:07:07	一つのご質問、3ポツのほうは、
0:07:12	あと、
0:07:13	我々は、
0:07:15	はしなければすみません、ちっちゃいことですがけれども3ポツのデータ、どこに指摘をしますかというところは、先ほど土岐オノエザワ検層のデータ扱いを2ポツで書きましたので、ヒガシは遠いから入れないけど中途西についてはここにはまりますというところが、この3ポツの表、
0:07:32	18 ページぐらいのところにつけているというところ。
0:07:35	はい。

0:07:37	はい、土谷浜崎です。そうしたら1から3ポツまでですね、当町側から確認事項あったらお願いします。
0:07:49	補足です。
0:07:50	退会をいただいているんですけど、
0:07:53	先ほどの表層のところ、東芝の二つのエリアはいいんですけど、
0:07:59	それ以外2、
0:08:02	何飲んででもない。
0:08:13	この後、4ポツ行ってグループごと(6)なんですけど、
0:08:18	そもそも、
0:08:20	メモの指導であれば、
0:08:23	13ページ見ると、色分けして、
0:08:27	2000年の全国、
0:08:30	論点にして、
0:08:32	いるのに、
0:08:33	4ポツではもうそれ論点してない。
0:08:37	ですね。
0:08:40	この辺も、
0:08:42	何でそうなっちゃう。
0:08:45	交通露骨になればそれは、全体一体で、
0:08:49	やりますって話になりますけど。
0:08:53	ノモトでございます。江藤。ここの、我々、検討、頭の整理としまして、表層、
0:09:02	の風景については、今おっしゃっていただいた年代別の分析っていうのは、この事故の中でも、やり切る形に、
0:09:12	なんですか。はい。あとやり方が違うじゃん。うん。どう考え。
0:09:19	えっとですね、これ、もともとですね、データをどう見るかという時に岩盤物性のものについて、
0:09:30	令和アノ直下近傍でやっていくというのが大きなですね、ある意味、キタノをできる施設でも見られているやり方だと。
0:09:41	ということで、それに基づいてきてるとというのが、全体にあったというふうに思って
0:09:46	一方、構想はですね、どこまでデータをどの単位で取るかということについては、これ、同じ銀行物であれば同じものとして、
0:09:58	外せるっていう考え方をするっていうのは、これもまたある意味、よくある考え方なんだと思うんです。その考え方をちょっと1回取っていったときに、

0:10:08	と一緒に扱うべきなのかと、いうようなところを、全体でちょっと整理する。はい。はい。整理の問題だと思っております、
0:10:20	2 ポツのところに入れてるんですけども、3 ポツのすいません 3 ポツのところの適用のところ、我々30 ページに、
0:10:30	Dのところ、2 行しか書いてないんですけども、すいません。
0:10:33	はい。すいません規制庁カミデさん、ちょっと口挟んじゃんですけど、全体的話、Cを、
0:10:42	遠い、もう、或いはあると思うんですけど 13 ページだと。
0:10:48	あれなんですよ。埋戻度で年代が分かれてるようにはしか見えないんだけど、
0:10:54	そもそも堂々と建屋の間とかって、電話の指導じゃなくて、流動化処理だったりしてませんか。どう、どうでしたっけ。
0:11:05	その次にその話をしようと思ったんですけど。
0:11:08	15 ページのⅡAを見れば、
0:11:11	流動化そういうのが一部入っているですよ。
0:11:14	これについてどう考えるのっていう方がどちらかというと、私は、
0:11:20	話。
0:11:22	そこが何も手当されてなかったんで、
0:11:25	多分、
0:11:31	先ほどの年代のやつですね、
0:11:36	まとめられるというふうに、にもっていうにしても、3 ポツであって、
0:11:41	周辺はこういうもの、グループごとと言ってるんだから、
0:11:44	グループの特徴としてはここは残念。
0:11:46	野瀬コウで、こういう状況です。
0:11:49	行った上で、
0:11:51	その通り、データとしては絶対できます。
0:11:54	言えばよくて、
0:11:58	等級、
0:12:00	流動化処理のところ、さらにもうちょっと、
0:12:05	話をして、流動化処理等の影響がないようなり、こっちの方、質疑では、
0:12:12	話をしてもらわないと。
0:12:32	城さん、よろしいですか。はい。はい、じゃあ、税調紙ですとかイチポツとかで話をちょっとすると、6、6 ページの、
0:12:42	特に①が、
0:12:47	2 ポツで示して内容と言葉と、
0:12:50	中身が並んでないような形で、
0:12:56	①の一つ目は岩石コア試験、二つ目は、S波検層でアノ。

0:13:04	試験の名前を言っていて、その次からは単位体積重量と言って、試験から獲られた。
0:13:12	物を言っていると、その四つめは
0:13:18	今度梅本指導ってななっちゃって、何か粹の話をしているんですけど、9ページの言葉と、9ページで示してるものとちゃんと
0:13:27	並べた方がいいかなという感じですがまずはその辺は大丈夫です、手当てできそうですか。
0:13:38	ございます。
0:13:38	木元ニッサカでは、構成をとるように修正いたします。ありがとうございます。
0:13:44	で、規制庁紙なんですけど、単位体積重量っていうのがー
0:13:49	9ページにいくと、多分Aの岩盤部分の物性値等の追加データのPS検層ってことだと思うんですけどこれ、
0:14:00	でも、試験としては岩石コア試験でとった単位体積重量を使うんじゃないかなかったです。
0:14:07	難しいな日本原燃のオガセです小カミデさんおっしゃったのは確かにそうですねコア試験でやってるというよりはコア、コア試験ってのはあくまでその町場入れてやる話なのでそのコアを使って単位体積重量を測るってことでございます。
0:14:23	なので、例えばこの10ページなんかも、この岩盤部分の基PS検層がAぽつの物性値にぶら下がっているもので、そこでは速度と、密度必要ですからそれぞれ、この方法でやりますっての多分頭に書いてあげないとちょっとその辺のシートをやってる岩石コアと、
0:14:38	ぐちゃぐちゃになっちゃうので、ちょっとその辺明確になり、
0:14:41	書きます。はい。
0:14:43	規制庁深見です。それは、PS検層という言葉で表現していて、9ページのぽっかちょっと悩ましいんですが本当だったらあれですPS検層及び密度検層というのかしらっていうようなはいアノ
0:14:58	言葉になるべきになります。
0:15:00	どうでしょう。例えば物性値にぶら下がるものではありませんので、PS検層と合わせて1度検層を実施しているみたいなそういう納め方もあるかとは思いますが、少なくともポツにぶら下がるものとしてのジャンルでこのページで、
0:15:12	締めくりたいと思っておりますので、はい。ちゃんとPS検層じゃなくて密度検層でやってるってのがはいわかるようにします。
0:15:20	はい、規制庁カミデサノあんまりこだわりはないんですけどただ正しく書いてくださいっていう関係で、説明できるようにちょっと教えてください。

0:15:29	東映と追加データっていうと、表層が、今回追加ですと9ページになってつつ、
0:15:38	14ページ。
0:15:41	なり、15ページで、
0:15:44	特に埋め戻し度の新しいデータ取ってきたじゃないですか。前回の会合から比べて増えたデータっていうのがよくわからなくなっていて、
0:15:54	それは12月に取りましたよっていうことなんですけどその経緯と、このデータが増えましたっていうのはわかるようにしといてもらえますか。
0:16:04	前年度ございますか。はい。
0:16:06	いたしました。ちょっと13ページに書いて後アリタ901画になってしまってるんで、14ページの中で、
0:16:12	わかるような形で記載したいというふうには、と思います。で、途中、矢羽根の三つ目のところに全部書いてはおるんですけどもちょっとこのときだと位置付けわかる中で、
0:16:24	以上でございます。
0:16:28	はい、規制庁カミデさん、わかりました。13ページはちょっと見落としてました。ここで取れて、
0:16:36	です。多分14ページはここまで
0:16:40	オレンジ点線で追加部分を明示しているのに対して、その次のページから何か新規のようになっている。
0:16:49	言うけど新規じゃないっていうところで混乱を、
0:16:54	だと思えます。
0:16:57	24ページは、
0:16:59	更新をしているわけですよ。あと1回は出していて、データ追加した分で更新してますよということで、そのポイントがわかるように、
0:17:13	同じようでございますが、速度構造の評価としては追加をしてるんですが、実際のデータセットといいますか、D0を求めるやつは30個。
0:17:24	もともとの3基ですのやってると。
0:17:26	いや、細井です。それはわかってるんですけど、見てわかんないよっていうことなので、視覚的にちゃんと伝わるんですね。視覚的にですね。はい。
0:17:40	規制庁金それで言うとずうずうしいとずきー14ページは前の会合から変わってますよってことだから、枠でここの長押説明が、
0:17:50	ジンノですはいその通りでございます。
0:17:55	はい、規制庁カミヤアノそのあたり、
0:17:57	どういってもらえれば、はい。
0:18:00	あと続けていっちゃうと、

0:18:03	12 ページのところの、
0:18:06	枠(イ)のところがよくわからなくて、
0:18:11	データの信頼性が低いとなぜ判断したのかっていうのが書いてないんですけど説明できます。
0:18:21	が、
0:18:27	当然セキのものでございます。いろいろこれ観測業者の方にですね、いろいろと問い合わせを行いました。
0:18:36	昔のDたがですね、もともと録音されたもので、それをピックアップしてきて、分析するということだったんですが、
0:18:46	やはり板叩き法というそのエネルギーの小さいものをですね、用いているので、やはりその
0:18:53	高振動数の方で減衰が大きくなってしまって、なかなか取りにくいんですけどっていうふうな話をですね、されておりました。現在の今回の
0:19:05	藤店長に比べるとですね、ほとんどメーターの方のハイサイ君の方がですね、やはりその信頼性がないというふうなお話を聞いたものですから、我々がわかる範囲でですね、こういうふうな書き方をさせていただいたと。
0:19:18	ということでございます。ちょっとその絵とどのぐらいの差サンプル数ですかその辺を聞いたんですけども、ちょっと昔のことで、わかりませんっていうふうな回答でしたので、ですから、この赤枠の中、
0:19:30	ぐらいの判断しかちょっと我々できない。
0:19:36	規制庁亀井です。よくわかんなくて板叩き法という調査だから信頼できないか。
0:19:45	板叩き法で、
0:19:47	出した結果と今回の結果で、
0:19:51	差があるから、信用できないとかその辺、どういう理由で、信頼できないとかというものを少し、
0:20:00	もう少し説明いただけますか。板叩き法の場合はですね、人が人力で金槌といいますか、規制庁カミデちょっとちょっと端的に答えてくれなですかね。
0:20:13	えっと、やはりエネルギーの問題で、そのハイサイクロデータカギさんですね、端的にちょっとなってるかどうかあれですけども北崎法自体の測定自体がですね、
0:20:26	高サイクルで、信頼を、が少し落ちる傾向のある子供の手法である、ということをここでは申し上げたかったと。
0:20:36	ということになりますと、規制庁海田とすると他のはい、地西本ヒガシも、

0:20:44	いるってことですか。はい。おっしゃる通りですてですね、ここに書いておきますのは、これはニシノ、Dたですけども、
0:20:55	ですね、中央につきましても、排サイクルは同じように、信頼度がアマノを踊るん傾向にあるというのはそれはその通りなんですけれども、
0:21:07	実は中央の方ですね、この既往のデータでは、この配布の料金も取れてなかったと言ったような事情がございまして、そういう意味では、たまたま取れてる半径は、
0:21:21	使えると判断してよかろうということでございます。
0:21:25	一方ですね、ヒガシにつきましても、紀陽のこの決算検層自体のですね、測定箇所が、この今回やろうとしてるタケヤグループ。
0:21:38	このよりも外れたところにおるといことで、もうそれぞれの直下として扱うデータとして、衛藤結局その使う呉ナカマに入っていないと。
0:21:50	いうことになりますので、結果的に取れてるデータのうち棄却するといったような話になるのはここに書いております。西側のデータになると、ちょっとそういう構成でございまして。
0:22:06	はい、規制庁パミスとりあえずわかりました。
0:22:10	それだと、見せ方が、
0:22:15	まず、オレンジのこのプロットって、
0:22:18	自分ですったんで、それがいる、いうことによってこのオレンジの部分も入りませんって言うようにまず見えちゃうんです。
0:22:26	はい、全員の方でございまして背弧の説明においては、また不要なんです。
0:22:31	はい、規制庁カミテそれで示すんだったら、とりあえず西棟、中央の既往のデータを並べて、西はこの部分がないし、
0:22:43	中央はたまたま取れてないから、いらないですねという形で並べてるほうがわかりやすいんじゃないかと思うんですけど。
0:22:53	水野でございまして。はい、承知いたしました。規制庁の瀬川ですけど、これちょっと全体的に今の話でその前からちょっと思っているんですけど、
0:23:02	もうちょっと説明をちゃんとしていかないといけないんだよね。まず、今1個しか言ってないんですけど、
0:23:09	もう三つデータ持ってるわけですよ。
0:23:12	この三つのDたをちゃんと出して、その三つに対して、その一定の信頼性使えるデータがどういう影響。
0:23:25	かっていうのを、こんな形で見ちゃって、ちゃんとやった方がいいと思って、

0:23:31	ここはいろんな要素が実は入っていて、今回新たにやったりする著作権所を、やり方が違う違う、さらに甲斐関井なりそういったし、もろもろのものも違う。
0:23:46	ていうのが非常に重要なんですよ。
0:23:49	で、
0:23:50	すごい、ざっくりいくと。
0:23:53	じゃ、信頼感と言われてるさっきの高周波の話をするんで、もう置いといて、写真残ったところは信頼区間が心外なんですよ。
0:24:03	信頼できる物といったときに、新しいS波検層
0:24:10	要は、
0:24:11	エザワから求めたものを見たときに、それは優劣の実はあるんだよね。
0:24:18	でしょう。はい。そうするとじゃあ同じ比較したときに、新しい
0:24:23	いうデータっていうのは、信頼性がある、例えばね、100 ありますと、
0:24:30	古いものは 100 あるんですか。
0:24:32	だから、実はないんだよねきっとね。それをさっき、
0:24:35	説明も中にちょっと入ってるんだよね。そうするとそのデータを並べて同じように、見比べていいんですかっていうのが最終的なものとしてあるんですよ。
0:24:46	だからこそ、そういった、要はもろもろが違うものっていうのはしっかり議論しておかないと、
0:24:55	いけないと。
0:24:57	手法が違う、要するに全く違うわけだよね、もう。
0:25:01	振動の与え方。
0:25:04	もう時点で、
0:25:07	例えば片方はスイープで除ヨリキの周波数をばんばん与えてるから、数分、
0:25:13	ちゃんと入ってるし、エネルギーの量もわかるんだけど、一般数、
0:25:18	なあって、どれがどのぐらい高っていうのか、ちゃんと解析。
0:25:22	できてない、与えた。
0:25:24	振動エネルギーとその周波数範囲すらよくわかってるなとかったりするわけでしょ。
0:25:31	そうすると、そういう中での、
0:25:35	信頼度っていうのは、やっぱり多分 0 のしゃべりつつある。
0:25:39	さらに説明できないんでしょう。皆さん、今、
0:25:42	今時点で難しい。
0:25:45	でしょ。だから総員ベーターほぼ、
0:25:48	皆さんは、

0:25:51	自分自身ってとったデータ。
0:25:53	何か説明できるデータと一緒に、
0:25:58	非常に置いたときに、
0:26:00	同じレベル。
0:26:02	評価してるんですか。
0:26:06	そのあたりっていうのは、多分、議論。
0:26:11	ということで、
0:26:12	それが多分、後ろに行くと、
0:26:15	そういうのが一緒になって、
0:26:18	一緒になったときにはもうミナミる一緒だよ。
0:26:22	でも違うんでしょみたいな。そうすると、やっぱりこれ参考程度。
0:26:27	の話なんですか、やっぱり同じレベルって。
0:26:31	うん。信頼の
0:26:34	やっぱり信頼性って言っても信頼度に差が出てきちゃってると、データの 見方はやっぱり、
0:26:39	区別なり、見方が変わるんだけどそういうことを1個に書いてないと、み んな同じで見る。
0:26:46	これが技術的な世界だね。
0:26:51	だから、もう
0:26:53	プロフェッショナルとして、
0:26:55	そういう部分、
0:26:56	やってもらう、もらうと。
0:26:59	この取り扱いというものをどう考えるかっていうのは、
0:27:04	単に同じグラフの中に並べる。
0:27:08	多分、
0:27:09	どう見られるかとか、
0:27:11	そういうものをするとところはしっかり使うんだったらしっかり、
0:27:15	してもらわなきゃいけない。
0:27:17	使わないんだったら使わない。
0:27:20	ていうのを使わない理由みたいなフォルダなんかしゃべってるけども、
0:27:25	でもそれをさっき自分みずから行ったんだよ。
0:27:28	みずからカミデの質問、質疑応答の中で、それをみずから自分で言った のよ。
0:27:35	だから、講習の話だけではないんですよ、これ。
0:27:38	はい。
0:27:40	吉葉がもう全然使えないって言うてるだけで、お金じゃ大丈夫かっつ たら国家だってみんな一緒なんだよ。

0:27:48	全体像としてはね。
0:27:51	ただそこにはグラデーションがあって、だから、だから、だからこっち、こっち左隅4分の1で終わらすんなっちゃうんですね。
0:28:05	はい。はい。はい。はい。根井さん。はい。1300のね、右と左で分けて、
0:28:14	分けられるっていうことではないんですよ。はい。
0:28:21	だからあれだけで急激に言うと言ってくるっていうヒガシのデータなんか実に表してるよね。
0:28:30	はい。この4分の1で終わらせる議論ではないということに関しましては、データによって、
0:28:37	という感じもあるんです。これもですけども、基本的にこれほとんど基準があってやられてるものですから、
0:28:45	これを否定して信頼性がないということはですね、
0:28:49	言えないっていうのが、
0:28:51	技術者があるんですね。
0:28:53	だから、はい。
0:28:55	信頼性がないって言ってるわけじゃなくて、信頼性に差があるんじゃないんですかって言ってるわけです。はい。もちろんもう、
0:29:05	何回もご説明させていただきましたように、15年前にこの水コウ使うようになって、劇的に精度が上がったという
0:29:12	ますので、昔に比べればその精度が高い。
0:29:16	はい。だから、同じデータの最新のやり方でやったものとね、旧式のものでやったときに、同じでそういうデータを一緒に
0:29:29	ね、今日、グラフの中に入れた。
0:29:31	そういう見方をしっかり説明してもらわないといけませんよと言ってるわけです。
0:29:40	技術的。
0:29:42	データに信頼がない。
0:29:49	問題がないと取り扱えないデータ、詳細的な話ですね。はい。はい。
0:29:57	でございます。おっしゃる通り、ちょっとご説明がこれ乱暴だし、ここだけということで、投資事業というふうに思います。
0:30:12	規制庁安部です。関連して12ページ先ほどとにかく事務経費の説明が非常に
0:30:20	乏しいところなんですけども、さっきほど農産説明された例えば東側、
0:30:26	今回、対象から外しますというグループの外側から、はい。でも今まで出てたわけですね、ヒガシな。
0:30:34	出たんです。で、きちんとそういう、

0:30:37	グループ外だからっていうのがこのパイプあります。日本原燃おかしいですそれはすいませんちょっと次の3ポツでのお話をいたします。3ポツの17ページの、
0:30:48	二つ目の矢羽根の後半ですね。うん。建屋から離れてるのでデータばらまく時に、
0:30:53	除外ということで、ただ、今の先ほどの議論を踏まえると、2ポツでもうこの、ちょっと相対的に今の最新のやつと比べると、ヒガシのやつはちょっとバラバラし過ぎてて、
0:31:03	劣りますねっていうようなことで、さばくかもしれませんので、もしかしたら3ポツで、何か今は外してますけど2ポツで外すかもしれないとかそういうのはちょっと入ってきて、
0:31:12	はい。規制庁安倍です。そちらの方がいいかなというのと、
0:31:16	今グループっていう一つの考え方で、
0:31:21	決めてその中で、東側は例えば参考だとかですね、何らかの形でのリファアできるものなのかどうか。
0:31:29	いうことも含めて、
0:31:32	いや、今回決めたグループの外だから、以降は外しますだと、やはり
0:31:38	データの扱いが非常に乱暴に思いますので、ここはきちんとフォローしてもらえれば、要は12ページのやはり説明のところですよ。
0:31:47	もう少し、しっかりと説明してもらえればと思います。で、例えば12ページの右下の図にしてもですね。
0:31:53	既往の参考図1っていうのは変わらないじゃないですか。22ページ見ればわかるんですけども、
0:32:01	はい。日本原燃オガセだから。はい。そういうところもそう。
0:32:06	きちんとはやっぱりこう抜かされてたんですね。
0:32:09	はい。日本原燃越智ですかしこまりました。今この12ページの右下の図では赤三角で書いてるのかどうかなんですけど、すいません同じように青枠と青、
0:32:20	白い看板つけるような形でやはりちょっと見せ方がそうわかりやすく、わかりやすくお願いします。
0:32:28	はい。草間です以上です。他2に交通、或いは3ポツで確認あればお願いします形状は、
0:32:49	オクサンポII。
0:32:53	大体、
0:32:58	今、
0:33:01	まとめです。

0:33:11	直接ヤマザキです。とりあえず 3 とつまでは、また戻るかもしれませんが、4 ポツ以降で規制庁が確認事項あったらお願いします。
0:33:31	はい。
0:33:32	はい。
0:33:35	Fの、
0:33:39	されたやつ、CTで追加されたんですけど、
0:33:46	された。
0:33:48	これを見ると、
0:33:49	CTでやってんだという、ちょっと、
0:33:57	2 ページ。
0:33:58	真ん中部分で、
0:34:03	3 色で塗られた瀬谷の一番左のもの。
0:34:09	なんで分析しない。
0:34:20	下左、
0:34:20	ヒガシ、
0:34:27	日本原燃のオガセでございます。42 ページのこちらの図でいくとエフ・シー・シーの左側にあるFCJとかのことを尾崎さんがおっしゃったと思うんですが、こちら実は
0:34:37	耐震設計の対象にならない、Cクラスなのかなと、いわゆる設計の対象にならないようなものになっており、設計対象にならないということで、
0:34:49	ごめんなさい、色が違う対象の建屋を色塗ってるだけ。そうそう／マナベじゃないかそういう
0:34:59	江藤。ごめんなさい日本原燃のバスですがその隣は平面図でございますけれども、
0:35:06	違う色を塗ってるのが、対象だっていう、対象
0:35:12	色塗ってというのは、タケヤね。うん。色塗った対象だから色塗ってるんじゃないのっておっしゃってる。
0:35:20	日本原燃土橋です。一応すいませんここだけお伝えしますと平面図で、紫でハッチングされてるものはいわゆるSsで設計するようなタケヤで、
0:35:32	それで斜めのハッチングしてるやつが、いわゆる波及影響の加害者側の施設。
0:35:37	とかの話で、MCTが七、八で、今お話になってるのがこの平面図上、FCと書いてるやつの左側にあるやつをそのままじゃないんじゃない。
0:35:50	このF施設のエリアにしている一番左下、左下、はい。
0:35:56	はい。
0:35:58	はい、わかりました。
0:36:04	日本の断層、

0:36:06	向かってますか。はい。
0:36:09	はいはい。
0:36:11	日本原燃の話。はい。今ちょっとすいません。話をちょっと、もし 27 ページをちょっとご覧いただきますと、担当の影響を確認してますがその対象とする建屋をどれにしますか。
0:36:25	ところが考えを 27 ページ。はい。
0:36:29	ここが一番下の矢羽根。
0:36:33	でございますけれども、ちょっとF今の小竹さんおっしゃったこのFの一番左下のところの図をちゃんと多分つけて見せてあげなきゃいけないなと思いつつなんです、
0:36:43	断層が直下にあるっていうこの次需要みたいに下に潜り込んでる建屋じゃなくて、近くに通ってる。
0:36:49	ところも当然あるんですけども、こういったところにつきましては、
0:36:53	やっぱり 1 個、断層って書いてある線の上に載ってるはずなんじゃないもんだから、断面で見れば、いや、断面図を付けて説明して、そうですね。はい、かしこまりました。
0:37:07	はい。どこが対象になるかっていうのがちょっとわかりにくくなってしまってますのでこっつてそういう踏み込んで、結果は見えるように説明する、少なくとも、
0:37:18	図面をつけて、何ともここです。ではここで言ってんだったら、
0:37:22	それに引っかかっているのは、
0:37:25	おっしゃる。
0:37:26	説明が、結果はよく説明してございます。
0:37:31	この、今表示してるやつですね、鷹架層の上限はわかりません。わかった。コサクさんわかってるんじゃそれを説明がないからわかんない。もう説明聞きたい内田イシタ。
0:37:42	それを説明するにも、
0:37:44	並み走系統だから言わなきゃいけない。はい、かしこまりました。申し訳。
0:37:57	はい。
0:37:59	はい。
0:38:02	前にも 1 回ちょっと
0:38:05	やっぱり何か現時点で、
0:38:08	直した方がいいとか何とかってことで、
0:38:10	ない。
0:38:13	一方、例えば今、ちょうど 45 ページ。
0:38:19	うん。今言った、

0:38:21	ってなんだろう。
0:38:24	どういう
0:38:25	考えたらいい。
0:38:26	その中で、実施に関する記録で、
0:38:30	そのパターンっていう、
0:38:34	D、
0:38:35	いやそれはそれぞれこういう検診の書き方があり、あるから、それで多分皆さんは、この三つの置き方に対して、傾き変えたり、
0:38:45	レベル変えたりっていう中で、ある。
0:38:50	地震動にピッチングが上手くはまるやつはどれだろうっていうふうを探しに行った、ある、結果なんだよね。
0:39:00	で、
0:39:01	この程度、
0:39:02	もう、
0:39:04	そうするとフィティングが、
0:39:07	まずっていうかそういう説明なんだね。
0:39:13	で例えば、
0:39:15	一番いいピッチングどれだったのって今三つの結果を載せちゃってんだけど、皆さんとしてはさ、
0:39:23	結局どれなんだっていう、
0:39:27	ことなんだよね。
0:39:29	で、例えば赤なんていうのは見た感じ。
0:39:34	緑とか、及びピッチングはあんまり良くなさそうだよ。
0:39:41	だよ。
0:39:43	だから、
0:39:45	学校じゃないね、赤じゃないよねと。
0:39:48	アウト緑って言っても、緑のファイリングはあんまり信頼性がない区間が、
0:39:56	フラップの部分っていうのは入っているとすると、青と緑、どっちがいいんだけどさみたいな。
0:40:04	微妙なあれはね。
0:40:06	だから、多分ここ最後
0:40:08	んでもいいような気が。
0:40:10	08 みたいなバックデータの時にはあるかもしれないんだけどっていう。
0:40:16	この時点で、
0:40:18	du
0:40:20	前もちょっと、

0:40:24	かえってね。
0:40:27	ていうか 6 ポツあたりでまとめるときに、じゃあしかし邪魔になっちゃうんじゃないか。
0:40:37	実は、今、管理官がおっしゃったようなオカ、青でいいじゃん。
0:40:41	まさしくその時八尾伊井とか天田は、そういう形で 45 ページ見たらね、赤は何かずれてるよね、これは皆さん見るわけですよ。
0:40:55	ここ我々はもうデータフラットに調べるつもりで書いてあるんだけど、ただここで、そういうパワーポイントで、会合でご説明する前面でデータがある程度、
0:41:07	ちょっと絞った形でこれ載せた方が、話がわかるんじゃないかと。だから全部でこれを並べてることは、多分否定されてなくて、全体のプロセスの中の、はい。
0:41:18	結果に近い部分だよ。うん。うん。うん。一番主任技師の前ぐらいのところで、この三つの多分選択っていうのが、次に入る。
0:41:29	じゃないのかなと思って選択してないんですか、持ってるんですかっていう話。
0:41:36	ロジック的といいますか我々のところ、
0:41:40	とりあえず 4 ポツはあのデータを店舗並べて、後でマニュアルには行くんですけれども、ただ、ここでお示する段に、そしたら他のものがアノアライウタミアカセでここは整理した形でニシダどうかっていうのはおっしゃる。
0:41:56	ないっていうところは他と違って何かデータをとって、全部つっこう並べるっていうのは、ちょっとこれね、違うんですよ、性質がね。
0:42:07	だからこういうふうに、
0:42:09	言ってるんだけどね、それこそさ、どんだけフィッティングしたんだったらさせん等でやりました。
0:42:15	本当になっちゃってるわけだよ。
0:42:18	でも、
0:42:19	結局、ここはピッティングの話だから伝達関数にフィッティングするような減衰のカーブで、
0:42:27	6 分なんていうのでは、
0:42:29	皆さんの最終的な見立てが入っちゃってもしょうがないね。
0:42:35	はい。この程度の、例えばね、リニアなりバイリニアの、
0:42:40	問題だと思うけど、このぐらいまでやってきていたら、このぐらいっていうの、レベル感を持ってますっていうぐらい。
0:42:49	元オガセですおっしゃる通りだ。

0:42:51	思います。一つちょっと今思ってたのは、むしろ説明が、説得力があるなと思ったものとして、この後我々って、4 ポツで整理したものを踏まえると、C案から集合まで原石ずつの手法があるんですが、その中でどれがいいかなという比較を今後 6 ポツでやるわけなんですけど、
0:43:07	そのときに、いわゆるそのリニアの方が、S波検層という別の手法を見ても、あれで高振動数で、
0:43:12	斜めになってますよねってことはやっぱりこれって合ってるっていうのも、適合度が合ってるってのもそうだし、短周期側まで斜めになってるっていう検層との整合性から、やっぱりここは、このCEOさんの中ではリニアがいいんじゃないみたいな話をした方が、
0:43:27	何か説得力があると思ったので今 6 ポツにちょっとあの手法間の比較をするところでやってたんですが、どっちでも、
0:43:34	途中はそういうのを我々に説明するというプロセスが途中途中はあったかもしれないけど、いよいよね、全部のデータができて、
0:43:44	まとめの段階なんで、その辺はもう少し考えると、
0:43:51	要するに使うデータ、うん。
0:43:54	なんだよね。はい、中塚ですか。使わないですかっていう。
0:44:00	ここに載せてると使う。はい。そうですね。
0:44:03	でも本当に使ってるかったら使ってなさそうな気がするし。なるほど。だからね、時間がない中で全部直せるっていうことではないんですけど、その辺は、
0:44:15	こっちから別に、
0:44:17	この話はまた、
0:44:19	回答の場でしますよ。うん。はい。うん。ちょっといいですか。はい。
0:44:32	は、はい。
0:44:38	確認さしてもらいます。はい。
0:44:41	はい。
0:44:45	さっきの
0:44:48	既往のデータの取り扱い等も
0:44:55	重要事項だと思いますね。
0:45:02	はい。
0:45:02	きちゃうわけです。今管理課のお話は 4 ポツデータを各グループごとに寄与する話なんですけど、5 ポツというのはね。
0:45:13	それをダテですねしないの話なんで、今、5 ポツの下水線もカセ入ってますんで、
0:45:20	はい。だけど、そう、そうっていうロジックなんだよね。
0:45:26	そうですね。

0:45:28	はい。
0:45:30	今、3軸圧縮試験とかいずれはこれもサンポになって、最終的に使うところに上がらないものも、ちょっと野瀬ちゃってるのと同率ちょっと考えてしまっていたと。
0:45:40	いうところはございますけれども、
0:45:45	ちょっと申し訳ございません。目標まで来てる資料はヤマダだから、ちゃんと公開の場でこういう話は議論してもらって、
0:45:56	いや、別に使うんだったら使うんです。はい。はい。
0:46:01	んですけどあの、すみませんちょっとなん、多分突然言われてもまた何か最後で話がかみ合わないと言ってみたらいけないんですよ。
0:46:15	わかりました。はい、ありがとうございます。次お願いします。
0:46:18	どうぞ。4ポチ、4ポツですけれども、副長側から、
0:46:27	大丈夫です。はい、江藤町長。
0:46:31	ちょっと私の方から細かい話なんですけど34ページの、
0:46:36	例のアノイチカワの線で、
0:46:41	線形状態で非線形状態、これは泉でいうと0.01ですかね、ちょっとまずその事情のところで、他のも場所にかかわらず、
0:46:51	聞かれてるんですけども、これは何か根拠があって、或いは何か意味する。
0:46:57	ところがあって、
0:46:59	はい。日本原燃のオガセでございます。こちらにつきましては正直見た目なんですけど、いわゆるそのひずみ依存特性の、その家傾斜が上がってくるところの目安で引きましたので、
0:47:10	これをじゃあどこから上がったかという、当然グラデーションの世界なのでちょっとわかりにくいので大体オーダー感で10のマイナス2乗ぐらいまでは大体こう一定で行っていて、そこからどの岩種もわかり始める傾向ですねという意味では、書いております。で、一応当然全館種のものを見た上で、
0:47:26	例えば、例えば10のマイナス3乗ぐらいから上がり始めるものがあつたらそこからそこまで赤い枠を書こうと思ったんですが特にそれに該当するかもなかったんで、オーダー感としては10のマイナス2乗でいいかなというところで聞いていると。
0:47:38	はい。しちゃうべきです。これは、その4ポツなり5ポツの評価上、何か7、
0:47:45	日本原燃のオオハシです全く必要は正直ないです。あくまで目安として大体ひずみが卓越してくると、上がってきますねということをお願いしたいが

	ためだけで、この線引きの境目が何かしらの評価ないし分析に関わるものではないです。
0:48:00	はい、北口浜崎です。わかりましたけれどもこの領域もですね、
0:48:04	この
0:48:05	前々回の資料はもう少し赤の領域が狭くなってたところもあってです、あえて書いている。
0:48:12	それと、
0:48:13	今回岩石コアが、こういう構成がなくなっただけなんですけども、岩石コアの結果はあくまでも線形範囲ってような意味合いで、そういう意図があっけ。
0:48:24	こういう、この表記があったのかなと思ったんですけども。
0:48:27	そうではない。
0:48:29	ということですよ。衛藤。日本原燃大橋です。まさしくそこがちょっと意図したところでした岩石コアは、今今回図直してきました通り、ごくごく、ほぼゼロっていうんですかね、の泉領域におけるデータですので線じゃなくて、
0:48:44	ご指摘いただいたように、矢印の形で書かせていただきました。それに対しまして、その3軸圧縮試験っていうのはひずみのアノバンドウでの次元での差が出てきますので、大体これを見た時にどこら辺まで一定の、いわゆるひずみ0の領域と同じぐらいの減衰を示しているのかなっていうのが見れるデータっていう特徴がありますので、
0:49:02	そういう意味でまああの、すいませんそのマイナス2乗までの幅がこれぐらいは大体一定の領域がありますねという引くことに意味はあるかなとは思いました。ただ先ほど申し上げた通り分析自体で何か使ってるものではありませんので、特に何かこれがないとというこだわりはアノないのが実態では、
0:49:17	3、規制庁わかりましたアノ。
0:49:19	あって悪いもんじゃないんですけど、アノイトウは、オオキナカイトウワダという話しました。
0:49:26	そんな中で言ってこれも細かい話でこの場で引っかかったのは90ページですね、基本的には、岩石コアの結果ってさ、同席算術よりも若干考察はオオキで、うん。
0:49:40	出ましたと言うのは、結論だと思ってますけれども。
0:49:45	3、90ページの真ん中の差分の凝灰岩の5ホソノとですね、ここだけが、非常に小さいと1%程度でほとんど、
0:49:56	何、小さいそれと、動的のその愛知頑張り。

0:50:00	と抵抗が違うんですけども、ここは、はい。データとして大丈夫ですか信頼っていうか、確認をされてはい。日本原燃のオガセでございます。正直小コウについては他のところと同じように、いわゆる反射とか工事の影響で、信頼性ってのはやっぱり30クロイワをとっていると。
0:50:18	あります。ただ、信頼性が、いっぱいデータをとってる3軸圧縮とか成功っていうある意味単発のデータっていうところを見た時に、先ほども議論になったような、どちらの方が信頼性あるかなと言ったらやはり30分でしよう。
0:50:33	話で、かといってもう一つの付加情報として、そのカセコウは低くなっているんですが、その3軸圧縮で見ているデータの白丸の分布でございますけれども、それが意味バンド内には入っているというところで、余りに特異な場所によって違うような値みたいなようなそういうような説明になるようなデータには、
0:50:51	なっていないということは確認してる、矛盾のないデータにはなってる範囲で、ちょっと信頼性がないけれどもちょっと矛盾がないところ、してますよっていうところを言いたいがためにはいここはちょっと書かせていただいています。それを最後の山根層に変えていく。
0:51:05	そうです。はい、池ちゃんです。最後の中で、特に値となっていて、確かに書いてあるんですけども、
0:51:12	本当にそこ、そこはトガシ成果、
0:51:16	全然大事故ない。
0:51:19	ちょっと何か
0:51:23	途中でデータの間違いとかなければいいんですけどという、そこがきちんと確認されているということで、
0:51:30	はい。その辺のところはですね、次回のサトウさん、いろいろとお話をしたときにですね、
0:51:40	やっぱり今、
0:51:43	ここで言うと海域の線をですね、一本決めてしまうっていうのは、
0:51:47	ちょっとよくないんじゃない
0:51:48	だから実際にこのばらつきを持って、
0:51:50	ところ分範囲に、岩石コアですね今回の減衰試験等が入ってくれば大体同じような結果が出てるっていうふうに判断できるんじゃない。
0:52:01	いうふうなことはおっしゃってました。で、このマエネアノ砂岩凝灰岩のゴソウなんで、実際ばらついてるつつうのは、やはりどちらの成分がその岩石コアの中に入ってるので、

0:52:12	多分ばらついてくるんだと思うんですね。ですから、この、今回やった管理人アノ本郷サノ凝灰岩構想っていうふうにとってますけども、どちらの成分があったかということでやっぱり、
0:52:22	高くなったりっていうふうに入ったところに入ってくるんで、この一番最後の山に書いてあることも先生、佐藤さんがおっしゃったので、そういうバランスの中に入ってくれば、
0:52:33	それは大体その分、岩盤の物性値として評価できるんじゃないのっていうふうなお話はされてました。はい。規制庁までですわかりました
0:52:43	今回新たに大成功やられて、総じて確かに各岩種ごとで、動的の30分よりも若干大きめになって、
0:52:53	3種類の'ぐらいは低い値が1%ぐらいあって、それはやっぱり量的も低いんですね。そうですね。で、この
0:53:01	息子さんだけが、次。
0:53:04	特異な現象だったので、確認しましたけれども、特に得になってないということを確認されてたとされているということで、はい。そこは心配です。はい。ありがとうございます。そういうふうなお話をさせていただいてます。はい。はい、わかりました。
0:53:20	はい。規制庁の有井です私からは4ポツ以上です。
0:53:24	ほか4ポツ、規制庁側からありますか。
0:53:27	規制庁の岸野です。
0:53:29	ちょっと1点、質問の内容について確認したいんですけど、102ページをお願いできますか。
0:53:39	はい。下のS波検層の説明を
0:53:43	二つ目のレ点の文章で、傾きが小さい。
0:53:47	僕短周期で新城さん。
0:53:50	説明なんですね。
0:53:52	右側の設定。
0:53:54	1号機だとほぼ横ばいで、2.01両方まで傾きが大きくなってというような、
0:54:02	形なのかなと思うんですけど。
0:54:05	うん。
0:54:05	文章の説明ってのは、どの部分を指してこないっていうかちょっと教えていただけますかはい。日本原燃のオガセでございます。そういう意味ではちょっと今見ると余計なことだったかもしれませんが見たものとして、

0:54:18	正直 0.1 秒とか高振動数側のところの方が相対的にはこのバンドウを持ったデータの中でもある意味信頼性というか、本村したというのは大きいと思ひまして、
0:54:31	何ていうんですかね、大体 1 秒近傍で傾きが小さくなっているという意味で書きました。ですのではい。そういうことを書くべきだと思ひました全体的に小さいとかじゃなくて、何か、
0:54:42	どちら長周期側にイトウと傾きが小さくなる傾向が見れるものみたいなそういうような、はい。言い方が正しいという回答になります。
0:54:51	小貫です。はい、わかりましたというかそうすると、短周期まで振動数依存性っていう長周期があまり振動数依存性がないっていう
0:55:00	んですかね。日本原燃のオガセでございますこのデータだけを見るとどうなのかなというのはそこはちょっと言いにくいというのが正直思ひますです。少なくとも、
0:55:11	ただ短周期の方については、立っている短周期の方は新藤水道生は持っているけれどもちょっと長周期側でその傾向が甘くなるというのがデータから見られることですので、短周期までどうやら短周期周波数依存性がありそうだぞということについては言ってもいいのかなというふうな、思ひしております、思ひます。
0:55:30	はい。規制庁一井です。はい、わかりました。
0:55:34	前回の会合資料暗号でこれ横軸が 0.0 ゴコウからスタートして、データが変わってないとすると横ばいに近いところの部分だけを示しながら、
0:55:46	前回このように述べて、今回図面表示が変わったんだけど、文章は変わってないのかなっていうふうに思ひたんですけど、これを今回変わった図からも、今のような説明ができるということ。
0:55:59	いうわけですね。松森クリタンです。日本原燃のオガセです正しくおっしゃる通りでございます前回は既往知見と比べたんでちょっと範囲狭かったんですが広げました。
0:56:09	その上で広げると、やっぱり周波数依存性がある領域ってのがまた見えてきますので、それに基づいていえる結論というのは変わらないというところのご認識でハシバ。
0:56:20	ございます。
0:56:21	説明はわかりました。この申請いただきました。以上です。
0:56:26	はい、規制庁浜崎です。他に、4 ポツ、規制庁のアガワから確認ありますか。
0:56:35	ないようでしたらちょっとすいません。規制庁阿部です。私から 1 点、これは記載の確認ですけれども、

0:56:43	戸塚さんのところでですね、行政については、表記をもう少し、各グループの状況の
0:56:51	表層地盤の状況を踏まえて記載を拡充するというふうに理解をしていたんですけども、例えばですね今回の資料で
0:57:06	CDのグループの表層の記載があります。具体的には、
0:57:13	24 ページですね。
0:57:15	JCBは位置付けからピーエイの一寸木北川の隣に存在するもので、ピーエイは、表層地盤は、家を埋め戻してない。
0:57:26	状況で、その隣に存在するCBについても、片側がウエダではない。
0:57:34	昔と同じもともとじゃないかなという状況で、
0:57:39	構内CBの表層地盤をどうするんだろうというふうに考えてたんですけども 124 ページ見るかが鍵ではもう、一応のめどで表、評価しますとしか書いてない。
0:57:51	さっきも
0:57:54	話がありましたけども、どういう各グループの表層をどういう条件だからこうしますっていうものは、
0:58:00	説明が必要と思ってますけれども、例えばこのCBのところはどういう考えで、表層一様に、梅野一条に考えたのか、説明して、
0:58:23	33 ページです。はい。
0:58:27	いや、そうです。
0:58:29	日本原燃の 5 月でございますP13 ページちょっと 6。
0:58:38	3000 倍違う。
0:58:41	は 23 がいいですか。いいですよ。はい。
0:58:46	はい。で 13 ページなんですけれども、それは同じ、26、23、23、23。はい。
0:58:56	はい。ここはどれぐらいするかの中で、PPAってこの中の一番右下のところなんですけれども、これって第 1 回の時に、埋め戻しじゃないというふうに申し上げましたが、これっていうのが、
0:59:08	図上ちょっと何か東川とかニシカワとかにもウメダあるように見えるんですが、これ実はちょっと何ていうかトレーラーが入ってくるような傾斜みたいになってて、実はあまりこう深さ的にコウウメダ実はオチアイじゃない。
0:59:22	意味でPAって、もうほぼ全周、
0:59:26	めどじゃないっていうような状況になっていたというところがあります。一方で、その 1 個キタノCB建屋、ちょっと今、FLの 11 って書いてますかね、にかぶってるところがCP建屋なんですけど、

0:59:37	これっていうのは建屋とかが近くにあるとそれは他の場所と一緒にすけれども、北川とかニシカワとかあと東川もですね、オープン掘削で一応めどはあるという状況で、そういう意味では他の建屋とそんなに変わらないピーエイみたいに少なくともちょっと
0:59:53	直後リティですかね、みたいところで、
0:59:57	福森とかでさ、サンポっていうんすかね、あの場面のときに、考え方にあるようなそういうようなところですがそこに邪魔が出ているというわけではなくって、タテとかはあるものの、
1:00:08	何ですかね結構遠方の方までウメダが広がってところが結構サンポぐらいで広がっているというところですか、これはウメダと見ていいだろうというのが
1:00:18	ごめんなさいこれ設計で考えるならこうしますよねっていうところなんですけど、ピットは少なくとも差別化できるなというようなところで考えているところがございます。すいませんちょっと。
1:00:28	言えない。
1:00:29	やってます。規制庁浜崎です。明らかに周辺 4 種、4. 14 種がですね、ウメダの建屋ならいいんですけども、そういった微妙なものを例えば 118 ページの
1:00:43	バンバン部アノ断面図のEW方向を見ると、やはりこのCBって、黄色、黄色が確か 60 ですか。
1:00:52	六ヶ所六ヶ所層にコウ、
1:00:55	逆に接しているように見えますしですね。
1:00:58	でも、今のような判断があったということは、そうですね 102、評価のところに、
1:01:04	きちんと説明すべきというふうに思いますので、
1:01:11	うん。はい。原燃おかしいです。
1:01:14	その 23 ページとかのところで、
1:01:17	はい、どういう考えで支配的規制庁なります。一つ一つグループの特徴を踏まえてですね、表層地盤の考え方も、
1:01:29	はい。
1:01:31	今のところは先ほどコサクさんからも言われたんですけど、ミツハシですけど今の言えは 124 ページに、うん。
1:01:42	又吉ですけど、
1:01:45	今話があったように、水平面と、かつそのパイプは今の断面、うん。
1:01:52	何かを見せて、どういう特徴があるのかっていうのをちゃんと言った上で、
1:01:57	こういう結論は変わらないと。

1:02:00	せっかく酒匂グループに分けて話。はい。何の意味もなくなっちゃうんで、やっぱり、
1:02:06	はい。はい。
1:02:11	はい。規制庁の土岐です表層のところの記載ですね、もう少し丁寧。
1:02:16	なので、
1:02:17	今のような観点での考察をお願いします。遅さ考察っていうかな、分析な。
1:02:22	はい。
1:02:23	他に、4 ポツの方で確認、
1:02:28	生まれないですか。なければ、
1:02:31	今回の
1:02:33	修正部分としては、中心となる 5%についてですけれども、はい。
1:02:42	うん。
1:02:52	40、150 ページから 150 ページの、文字がちょっと気になるところがあるけどまあうち行けばわかるんで、
1:03:01	去年も大体、
1:03:05	前に比べるとわかりやすくなってきた。
1:03:10	あっても 154 の減衰の方、そしたらこうなっちゃうのか、こっちは何かすごい綺麗に並べてくれて、
1:03:23	ここの西とか中部とかヒガシって書いてある。
1:03:27	それ僕が並んでるのか、これ。
1:03:30	154 ページの話ですか。これはこれで別にオオキデータとりあえず並べてみましたよね。でね、次が問題で 155 ページ。
1:03:43	まあ、泉シノニシウチとヒガシはそれぞれ、特別にしますよっていうのわかるのか、企業データが向こうに。
1:03:54	限られるのは、何を説明したいのかっていうのが、
1:04:00	もう、よくわかりませんと。
1:04:04	何も説明したかったんですけど。はい。日本原燃の間瀬です。154 ページ敷地のコウを 1 関係的にこう並べてみたときに、
1:04:15	大体似てる根井は言えます。大体似てるんで、でもやっぱりVsとかに応じて違うって言うてる人が気をつけますので、
1:04:25	ちょっとそれと比べてみたらどうなんだろうかというところを見ってみましたってなったときに、
1:04:31	他の費用知見で行っているような、
1:04:34	ことで、このぐらいVsが 2 差があれば、減衰って変わってくるよっていうものと見比べたときに、うちで、

1:04:41	うちのつつ、敷地内ってそんな減衰が変わるほどの地下構造の差ってないんだというようにところを説明したいか、ために、はい。
1:04:49	木全さんにてる値の裏付けというような、
1:04:52	だから、見てるのはだから、皆さんは西と中央とヒガシを見てるから一緒に取り扱おうというふうに、そういう説明になるんですか。
1:05:06	三つのグループが認定したら、異常値だから、いや別にいいんだけど、似てるから、何か一つにしようとかそういう過程の中で、必要なんですか。いや、家庭、
1:05:20	今の断面で、事業者と一緒にしようというような人でこれからの説明っていうのは、
1:05:28	必要な伏見
1:05:32	で、これってね、見たりいくらでもある種ね、VSの話だって、これとこれある範囲をもって似てるよねっていうのは、
1:05:44	結構どんどん集約が多くできると思うんですよね。でも皆さんは最終的なモデルとか競争とか、いろんなことを、
1:05:55	トータルで考えたときに、やっぱりそのぐらいのところはもう説明できるからみたいなそんなロジックだったと思うんだよね。そうするともう西と中央とヒガシオオモト別の話が違うんだから、これはもう、
1:06:09	しますよっていう、考えているが、ここでこれを持ち出して何かするっていうのは、ドレークドイ2が、
1:06:19	あるんですかっていうのがよくわからない。
1:06:22	いうので確認したんだけどね。
1:06:25	さらにその 156 ページはさらによくわからない。
1:06:30	また、新しい話を持って聞いてしまって、
1:06:34	多分今の話で、Vs数がこのぐらいだったら減衰でこうだね。だからそれは何を説明したいんですか。
1:06:44	リーダーが皆さんがやろうとして、これね、基本がですね原則論がね、敷地直下のデータを使ってモデリングしますのですね。
1:06:55	それで、よくよく見たら、コウにてるんで、多少こういう一緒に、
1:07:01	してもいいかなぐらいの話が何か、
1:07:05	学術的な分析スルーんだ。
1:07:09	が、してもいいんだけどそれをどう使うんですかって。うん。
1:07:14	いう。
1:07:15	これがよくわからなくて、この話を、
1:07:19	することによって、何が目的で、
1:07:22	そうするとねさっき言ったのは、中央市比が強い単位で、3における扱うことが可能。

1:07:34	なあ、私はそうですね。
1:07:36	結論、流れがよくわからなかったんで確認。
1:07:45	ヤノ通り。
1:07:48	同じ傾向なんですけど、これ、データ持ってない、見たこと。
1:07:54	気持ちがして、これ、何が違うっていうのは明らかなので、明らかになった時にその減衰の差ってのが出るかどうかっていうのは、いるかなと思 いながら書いたんですけど、確かにヒガシが違う説明っているんです か。そう。一緒じゃない。
1:08:11	だからフジイ、ここはどうでもいいんですよ。だからもう結局、
1:08:15	このもともと12名がそれぞれ独立してるのよ。そうですね。だから総 合関係は、いやもう現実あるよもちろんね。ただ、こういうモデリングの 世界で12で分けてそれぞれやりますって言った中では、
1:08:31	ええと、そんなには見る必要が実はないんだ。うん。
1:08:36	ていうことですよ。でも一部、今回隣を少し見てみましょうか。ここに、説 明が容易な範囲でやった方がいいかなって思ったんですよ。うん。はい。
1:08:48	いうことだから、割とあと比較。
1:08:54	ていうのが、どういうところで意味があるんですか。
1:08:59	いや、被覆して、お隣さんなんか親戚だったじゃん。だから、
1:09:05	そうしますとか、
1:09:06	はい。
1:09:08	単に問題も言わなくて比較して、うんって終わるんだったら、
1:09:13	意味があんまりないよね。はい。
1:09:16	隣だから、似てるよね。
1:09:20	大変ですよ。だから何っていうことにはなるという。だから結局、何に 使うのかっていうのがしっかり説明使うんだったら、
1:09:30	やっぱり説明してくださいっていうんで、
1:09:35	です。
1:09:36	157とか、それに沿って、
1:09:40	もう1回頭に戻ってね。うん。
1:09:44	やった整理っていう
1:09:46	ね。
1:09:48	それはそれで、その結果が150
1:09:51	なんだけど、
1:09:54	でね。
1:09:56	現地がさ、どうなってんだっけ、10人か。
1:10:01	岩盤で8ですか。

1:10:04	いや、だからこれが結局ね、例えば今は 59 ページを開けてるんですけど、
1:10:11	これいいね。
1:10:13	で、Fだよ。これはちょっと違うところがある。
1:10:19	なんか全く同じ絵がつく、当グループの勝木宗層、そういう意味では、です。
1:10:29	根井、15 時版のAAF。
1:10:34	うん。
1:10:35	は、これは全く同じものが、
1:10:40	はい。
1:10:41	ね。はい。さすがにさ同じものを作ってましよう。あれだから、この括弧の中に、何だか何だか、何だかって、まとめちゃってもいいよねっていうことになるんですよ全く一緒だからね。
1:10:56	ていうふうになるでしょ。そうするとそれがいくつかできるね。あともう 1 個さ、G14 っていうのは、
1:11:03	こういうグループ延期した時にされるんですね。
1:11:09	分離なんですよ。はい。
1:11:11	根井タダG14 の溝上とか、
1:11:16	成瀬。
1:11:18	うん。
1:11:19	そうだと思うんですけど、そういうのがここに入ってこないといけないんですね。申し上げたように、ちょっとアノを主に下げていないんです。はい。そうするとね、
1:11:32	なるほど。
1:11:33	最後は、最最後ではないんだけど、まあまあある種最後なんだけど、
1:11:39	これなんじゃないか。
1:11:42	3、
1:11:43	最後、
1:11:45	こいつが変わるんだよね。
1:11:48	グルーピングが変わるんです。
1:11:55	もう何か資料を、
1:12:00	20 ページ。
1:12:04	このね 22 ページの絵がですね、はい。
1:12:08	10 人以下が変わるんじゃない、新たなグルーピングが、
1:12:13	できるんじゃないか。
1:12:16	14
1:12:20	で、

1:12:22	だから、ここでやれる人がいっぱい入ってんだけどね、例えば尾藤、何だかが、
1:12:31	一つの
1:12:32	地盤グループになるんでしょう、ここでさ、後、
1:12:35	部門。
1:12:37	午後なり6日ね、俗になるんだけど、
1:12:41	フォローっていうのはある。
1:12:44	建物も、
1:12:46	地下構造って、こんなイメージだよな。
1:12:50	Bのまとめとして、
1:12:52	はい。だとすると、
1:12:55	こういう周辺になるんだよなっていう。
1:12:57	こういう分け方っていうので、22の、
1:13:02	を新たに再構築する。だからフジイ重要なっていうのは二つに分類されるわけだよな。
1:13:09	それはね、この名前をどう使うんですよね。好きにしてもらっていいんだけど、
1:13:14	そういうことじゃないかなということ。はい。そうですね。その分のモデリングは、
1:13:20	できるんじゃないですか。
1:13:25	谷本です。
1:13:29	なので、最終的には、
1:13:31	さっきのやつが、
1:13:35	これ、
1:13:36	以前は、
1:13:40	今度、六法といった時に新たな
1:13:44	グループに対して、
1:13:49	生産決まっていく、地下構造、
1:13:53	もう概要吉松じゃない。はい。
1:13:58	秋野でございます。
1:14:02	なんぐらいは僕はついそういうのをやって、そしたらわかりやすいじゃん。
1:14:08	いつまでもだから、10日じゃなくなっちゃう。はい。はい。
1:14:12	はい、どうぞっていうふうに思います。あとさっき遊佐スタッフの使い道も含めてよくわかんない。
1:14:22	してもいいかな。
1:14:27	後の整備として、うん、整理して、

1:14:33	そういう意味で、
1:14:35	余分な人たちができる。
1:14:40	だってちゃんと説明してるっていう。
1:14:43	ちょっとあの先生がちゃんと頭直せない、良くないので、我々にヒガシよう相互の類似の話を別にするつもりはないので、ニシウラニシノアノ中出アノ木内県と整合的であるヒガシ教授猪瀬モテギであるといったような、
1:14:58	今の説明でちょっとまとめていくのかなと、いうふうに自分を比較した理由間違いも集めた隣同士を比較する必要がなくてないんだ。
1:15:11	そうですね。
1:15:12	はい。隣中国にして、いや、いやだから、自分だけ。
1:15:17	やってけばいいのよ。
1:15:19	いや、それ終わったんでしょ。うん。ただ何かまとめ耐震化したんだったら、その根拠がいるんだけど。
1:15:28	まとめるつもりがなければ、お隣は見向きもしなくていいんじゃない。今、すいませんちょっと私理解は、似たもんがちょっと、
1:15:38	うんアルコールねというのがわかってきたと。
1:15:41	減衰については、
1:15:44	どうする、どうしていく。これ、
1:15:48	いずれですね、やっぱりこれいずれ置いておいて、水として、ここを一緒に扱え、
1:15:57	ルールといいますか一つの固まりに、
1:16:01	なるというのは一応データからは見えるんだとは思うんです。うん。そこまで言わない。はい。
1:16:07	はい。はい。
1:16:09	だから、同じ。
1:16:11	だから、一生懸命まとめる必要が、実はだから、もともと、さっき言ったじゃん。だからモデルが何個最後できんですかっていう。
1:16:22	それはすごい一生懸命減らしたいんだったら価値があるんですけど、どっちみち表層違う試運とか何か1個でも違ってたらね、まとめても、それほど意味がないし、おんなじだったらおんなじそこは結果になる。
1:16:37	うん。
1:16:39	データ量に差が減り、もちろん、
1:16:44	分かる言ってる。
1:16:51	だから、10人が8人。
1:16:53	だけね。

1:16:57	なりました。うん。いや、実はもっとできるんで、12を6にして、うん。それはヤマグチじゃないんですけど。
1:17:04	さらにね、そのためにそういうやつなんだけどっていうのは何かそういう利益みたいなのがあるんですね。ないと思うんです。いや、次の、
1:17:16	何年下ホソノスズキについて羽田からこっちの断面の話をするのは、次の断面はもうここで決定するのよ。そうですね。今やらなきゃいけないのは、まずそのデータとしてどこまで、素直に、
1:17:31	集まってくるかと。
1:17:32	いうことを、今、あまり変形なしでやらなきゃいけないってことで要件なしで、何も議論しないんだったら12のモンマやればいいんじゃないか。
1:17:43	いうところ、これはもう明らかに誰が見ても一緒だから、うん。もう議論もないだろうかなと思っています。
1:17:50	だけなんではしょうか。そうですね。だからさらにそれで余計なゴトウなのか、どうしてもやりたいていうのは、しっかり説明してくださいね。
1:17:59	それだからもう何度も言ってる。うん。いやね、これで結構敷地は類似してるのはわかってないカナダだから、しっかり説明すれば、もっとこうまく集約なり、
1:18:11	ね、できるとも思っている。うん。
1:18:16	でも、女gだったら、結果をきつと同じになるんで、
1:18:20	最後ね、だからわざわざ一生懸命やるところもあれだし、単純に平均化する場合のデータ数が大きくなって、
1:18:30	それはそれでいいかもしれないと、妨げ子もないと。
1:18:35	いう中で、皆さんは、そういういろんな時間とかそういうのもあるんだ、何をしたいのかっていうのを、やっぱそれが議論してもいい。
1:18:44	しっかり説明してもらわないと。
1:18:47	最初分離したものをもう1回再集約するんだからしっかり説明でそれ根拠を持って説明してくださいねと。
1:18:59	でもそれはちゃんとした江藤議論になりますよっていう。
1:19:08	だからその価値をちゃんとやった方がいいんじゃないのって名前から、
1:19:13	そうです。
1:19:15	それを多分やるわけですね。
1:19:18	でございます。いえ、先ほどからの話でもある磯檜垣オオクボソウノ鍵をどうこうということ、一緒に言うっていう、
1:19:28	駄目ではないのかなというふうに思いますんでこれ素直に火が必要。それぞれ武それぞれの中で、牧田警防ですねっていう話なのかなというふうには思います。武居コウっていうのは、

1:19:42	言いたいんですかって聞いてるんだ。業績に関して、いや、知らない。ちょっとうまくつつあります。
1:19:55	ちょっと私もその、これ岩盤のところ、ここが似てるとか、議論を何に使うんですかって聞いてるんだ。はい。はい。
1:20:05	だから不要な議論をなぜしたがるんですかっていうのが、もっと端的に言うと、うん。意味のない議論を、
1:20:13	なぜして上がるか。
1:20:15	だからさっき言った二つの 2 ページが、
1:20:19	議論は、
1:20:21	意味はどういうことなんですか、こういう会合で聞けばいいけど、うん。
1:20:29	今二つでも 155 と 156 の話ですね。はい。何かよくわからない議論をしてるんじゃないかと思って。
1:20:39	似てるとこれとこれが似てるんですよ。うん。なっちゃうよね。
1:20:44	いやにってるよね。そういう意味で言うと、笹ソヤ多賀なんかも、
1:20:48	ドイやそこまで持ってもらう。
1:20:51	もうおかしいか。
1:20:53	でも結局そこは全く一緒になるから、さっき言ったようにもう 1 回地図を再構築できるでしょ。うん。
1:21:00	ね。うん。それはメリットあるよね。角田ヤマト峰衛藤それはね、
1:21:06	近く事一緒だから。はい。
1:21:09	ほとんど変わらないから、結果一緒になるよね。うん。
1:21:12	ていうのがすごいわかりやすいよね。はい。あんまり議論。うん。ないんだよね。
1:21:18	だんだん複雑な議論をしていくとさ。うん。
1:21:21	ね。
1:21:22	単なる結果として似てるのか、何かちゃんと裏付けがあって、
1:21:29	ていうのはだんだん難しくなってくるんだよね。
1:21:34	だからミイ見てるとかあの人とこの人さ見てるよねって。
1:21:38	いうのを何か議論して、何か意味があるんですか。
1:21:44	それは似てるよ、同じような敷地乗っかってんだから。
1:21:52	はい。はい。
1:21:56	何をしちゃうとはっきりしない。
1:22:01	の中に男女の中で、今日の中で見た時に今月ってというのが、一つの値をといて、一つはやりたいマエネユリだってやってくださいよ。そうっす

1:22:16	ササキまで見通してなかったの、すいませんちょっと無駄な作業をしてるかもしれない。ちょっとそこをちょっと先取りして、議論の俎上に載せるのはね。
1:22:28	それをもとになってやっていきますという、
1:22:32	月ですんでここは、
1:22:35	というだけです。はい。
1:22:37	なんかすごいシンプルな話しかしてないですよ。何年原燃は、
1:22:44	いや、そういうことです。何か影響がある。
1:22:50	もともと基本地盤をつくるがために、まずas-isを決めます、決める時から把握しましょうというのがこの作業だと思っておりますので、この後に、基本設計、基本地盤モデルという作らなきゃいけない。
1:23:02	サンゴアノミッションって残っておりますので、そういったで、その時にここ、明らかにするところはいいんですけども、パッとパッと見のところ、
1:23:14	ワダ名和して、意味があるのか、どうせ次のところである、設計のところですね中に設計するわけにもいかないというのはありますので、
1:23:24	そこをちょっとよく考えないと、変なまとめになるなというのは、
1:23:33	違う。
1:23:33	はい。
1:23:36	サカイ法で構わない。はい。
1:23:39	私もうまくは、
1:23:42	規制庁。
1:23:44	についても、普通は、この敷地の中でどう扱っていくかというのは、ここが一番やっぱり肝になってくんだとは思ってるんですけども、
1:23:53	今12グループそれぞれデータ取ったと、データ取ったのを今、見比べてみた。
1:24:00	見比べてみたときに、これ少なくとも旧オオノ塊ヒガシオカタマウチニシノ塊で見たときには、その
1:24:10	頭の中で分離せねばならんということでもないよねというところまでは見えたという。そこまではされているのかなというふうには思ったんですけど、わかります。だからインダヒガシって言ったら、
1:24:23	ニシウラ西来ヒガシヒガシでそれがひとまとめできる、ちゃんと根拠を、今回説明してくださいと。それはそんなの、今ないよね。
1:24:33	なんですね。
1:24:34	うん。
1:24:35	ないですか。いや根拠が載ってないから、ちゃんとそれを言いたかったらやっぱね。そうですね。うん。

1:24:46	根拠をし、示してくださいねって言うてるだけ。やりたいって言って希望だけ言ってもらってるって話も知らない。そんなの終わっちゃうよ。
1:24:56	ちょっと、
1:25:00	まず、似てるよねえな。いや、それから始まって、ここはね。でもね一緒にしたいんじゃないんだよね。そっちでしょうねとかね。なんで似てるんだろうと。
1:25:13	香田幸田甲田というね、科学的に何か根拠あるよね。だからちよ、一緒になんでしょっていうことなんだよね。したいじゃないんだよ。
1:25:23	ね。
1:25:25	すいません、私どもと多分一緒にの心配してまして、住民の減衰を置いたときに、最後の最後のところで、減衰がうまくまとまるのかというのがちょっと頭がないもん。
1:25:39	イシューじゃん、今一生懸命悩んだところで、
1:25:44	周波数依存を入れる。
1:25:46	今もそうそう、そうですね。皆さん力説してるけど、そういう施設なんじゃないですね。そうですね。
1:25:54	はい。なるほど。はい。
1:25:57	ていうことを考えたら今一生懸命、何か語る必要があるんですか。
1:26:01	すいません、最後すいません。
1:26:02	どう使うか、こんな形でやりたいのはですね、データでまとまるとまとまらないかのデータはイソダしかないんだよ。はい。
1:26:13	なるほど。で、SRのデータが、例えば、みんな来なくなって、仲田地点の下でこれ5本ありました。結構中心で日本全国作ってね。
1:26:26	これをね、ニイタニでね、10個まとめて1本ね引いたところで聞いたら、もうこれでね、いつもずっといくのかと一緒にね、Aいうので、こっちを。
1:26:39	やりたいのね。いや、いや、じゃないんですけどそれもこれも一緒だったらね、一緒になんだよ。そうですね。そう。そうですねでこれ2本しかないけどそれしょうがないんだよ。そうです。
1:26:51	データに基づけばそうなる。でもこのデータって2本しかないけど一本一本は信頼性があるないね。結局ねその谷井の話をちょっとすると、そこが不安になってしまうん言うてるんですね。
1:27:06	これを今周波数が評価をカナイけど、大体ね、こういう三つの範囲がね、0. 何ぼだかちょっと忘れちゃったけど、
1:27:15	実はさ、えっと、
1:27:17	強いね。
1:27:20	このS8研修って、

1:27:22	その辺ですね、前にデータがあるんですね。ここは地震は観測、干渉がこの辺ちょっとまた、これ信頼がね。
1:27:35	そうでしょうね。伝達関数の信頼区間というのが、こんなところに来ないってそうですよね。ここはね、まず信頼がないんですよ。はい。
1:27:48	ね。
1:27:48	はい。1 から 5 は、例えばね、
1:27:53	もう、
1:27:54	こうなりますと、うんね、ここのシートはこれ使えますと、ここはもうね。
1:28:00	あと、この辺がこういうふうになってくるんで、
1:28:04	傾向って、
1:28:06	これ全部こう、
1:28:08	出ているところになりますと、
1:28:11	ことなんでしょ。
1:28:12	これがDた信頼区間はこっからここまではね。そこそこ。
1:28:18	うん。で、こいつもね、この辺まで実はね。うん。このデータからね。うん。
1:28:24	外挿なりこうなんだね、こうなってるね。これとこれがどういう距離感になるかは、実際プロットしないとわかんないんですけどね。ぱぱっと味噌流れてないんだよね。
1:28:35	ていうふうになるから、もうこれ全体的にデータとしてつなぎ合わせられるっていうことになるでしょう。
1:28:44	さらにここで皆さんがさっき言ったここで設定、登場するんだよね、既往のデータが。うん。何がこんなのか、こんなのが文献でね。
1:28:56	うん。ここの橋渡しするのをね、そんなに。うん。ね、文献的にもそんなにおかしくないよね。うん。で、
1:29:06	総合的に見ると、まあね、ここ平均でここで、この辺の繋ぎを解決するのかどうかはね。うん。知らないけど、あそこはね、なんでもあれだと思うんだよね。
1:29:19	あるんですよ。
1:29:23	まあ、
1:29:23	内訳、ざっくりこんな感じですが、これが 6 ポツの、
1:29:29	最後の、
1:29:31	減衰特性は、多分リニア系ですか。
1:29:35	多分ね、SR系コミヤバイリニアじゃないんだよね。はい。若干その辺があるけれども、
1:29:43	全体的にリニアだろうと。はい。
1:29:48	なって、日本会期なり、平均なり何かわかんないけど、

1:29:54	やっぱ最後、うん。
1:29:57	これが多分、
1:29:59	はい。
1:30:00	で、ここのデータが2個しかないのか、十分いるのかコウなのかっていう議論をしてんだよ。あります。1個ずつでも構わないはね。
1:30:10	だからそうそう、そういうことを多分、
1:30:14	そういうふうにしたくないんじゃないのかね。いやこれはね、データをつないだだけなんだよ。
1:30:21	だから、皆さんがやった結果、そのままがすべて示してるんですよ。
1:30:26	何かデータ嘘つかないんだな。
1:30:31	やってることわかりますが、
1:30:38	はい。最終的にですね、コサクさんももうちょっとすると、さっきちょっと言ったけども、ここ1本引けたとしても、はい。
1:30:49	根井コウ、最後はネロップの中の中ではこんなふう的一本コウね。池瑠羽んだよね。はい。
1:30:58	根井なんだけど、最終的に今度、この話は、
1:31:03	ね、実際のね。
1:31:05	現実の世界の。
1:31:07	地盤の様子はこんなイメージだろうと。もう解析になるところ制約上、減衰みたいなのは、それをフラットに、
1:31:17	一律ね、一律Ⅱにしかうまくね、プログラム上入れられないから、
1:31:24	ていうことなんですけど。
1:31:26	ていうことで、あんまりだからコガタカノ金額もこのぐらいだったり、ちょっとこう傾いてたりしても、
1:31:34	ね。
1:31:35	そんなに影響ないんだよね。
1:31:37	ていうことなんでしょ。で、ここの話の中はね。この、
1:31:43	メディアと、
1:31:45	一律のやつは、一律でも大丈夫ですよっていうのが、スペクトルなりで説明してくださいねっていう、そういうのをずっとそういう話をしてきたんじゃないなくて、
1:32:00	だから、フラットに、
1:32:02	一律にしたとしてもね、本当はリニアなんだけど、プログラム上、それをうまく表現できません。
1:32:11	ね。
1:32:13	いうことなんでしょ。それ制約上しょうがないねと。でも、
1:32:17	そういうのを両方比較してみると、

1:32:24	フラットにしてもそんなに、
1:32:26	わかりませんよ。
1:32:29	だから、こっちでも設計上差し支えはないんでしょう。シミュレーションするわけじゃないからね。
1:32:34	ていう、そういうことをこれから説明していくとしてるんじゃないんですか。
1:32:41	はい。はい、どうぞ。
1:32:44	重箱の隅のね、見てるとか似てないとかやって、
1:32:50	何かそこでその前だよな。
1:32:54	それと、あれですね、
1:32:57	だから、岩盤で7か8かになって、うん。
1:33:01	減衰はもう受12プラスのところですよ。だから、ごめんなさい。いやいやノダグループにするとかっていうのを決める場所じゃない。わかったんですよ。言えばその先にあるわけですよ。そうですね。その時に、
1:33:16	どんなことを題材にしたいかっていうのがあって、題材にしたいことはちゃんと整理っていうことなんですけどここで言えば、
1:33:27	依存性から自分で何て言って、入力を作りますというときに、何をもって比較しながら、それでいいと説明するのか。
1:33:38	その説明する項目の丸で書いてあるようなところのアイテムをしっかりと認識をして、
1:33:44	その相手も抽出をしっかりとって、
1:33:47	ということなんです。それが曖昧だから、いやなんぼナンボとかっていうわけわからないけど、
1:33:53	ということなんだと思います。
1:33:58	雨がノモトです。えっとですね、我々がこうなってしまったのは、今これを書いていただいた構造を考えた時に、この左側の
1:34:08	諏訪県そ観測記録等、それから10教育の
1:34:14	結んだ形の検討、これは次の6ポツでやるんだと思っています。
1:34:19	で、この6ポツへのインプットとして一番左に入ってくるS検層をコウゴコウツの時点で、まとまりますと言わなきゃならないのかどうかと。
1:34:30	というようなところでちょっと我々もなってしまったんだ。うん。うん。だから、アトベさんだったらまとめればいいじゃん。コサクですけど、その今のその何度やって引き渡すかの手法を原燃から示されてないのに、我々はこれでいい。
1:34:46	やればいいですよなんていえるわけじゃないんですよ。うん。
1:34:49	だから、まずそこ原価考えないと。

1:34:52	今どこまで特定すべきかなっていう、
1:34:55	何もヒアリングとした話です。
1:34:58	うん。数としては置いといてもよくて、
1:35:01	日本、
1:35:03	次1カトウのときに、もう中に加算という議論必要もあり、一国するも議論もあり、いろいろあるんだと思います。地方手法によっては、だから、その時に、もう、
1:35:13	乱暴かもしれ自由にまとめていくかって議論するんだという方向に持って、ここでまとめては全くなく、全くないんです。
1:35:21	でもちょっと12でいけるかっていう不安があるんとか、1個で引けるんかという不安があるんでちょっとだけですけど、逆に1個でリニアの線を引く方が無理だと私は思って、一方で、
1:35:32	依存性なしDエリアで決めると。
1:35:36	いうことであれば、そこにも包絡性の議論が入っちゃって、はい。
1:35:41	そこではもう一つにまとめることは可能なんだと思います。
1:35:45	なので、今の時点で1本にするっていう議論をどこまでする必要があるんだらうという気もする。おっしゃる通りだと思います。
1:35:54	その時点で、左の時点で10人をそれぞれするのか、右に行くときに12で1本にするかいろんなパターンがあってそこは我々、をかけてないんでここで不安になって、変にコウ固めようとしたが、この現状だと思ってますので、もう一つここ、
1:36:09	立ち返って、イソダからそれは、
1:36:13	機能しましょうか。はい。
1:36:17	これが最終だからね。
1:36:21	まずさらに結果的にね、こういうふうになっちゃうとね、また一緒になっちゃうのはあるけれども、
1:36:27	皆さんが言うまずっていう意味では、うん。そこで患者さんの敷地としては、
1:36:35	もう地盤状況っていうのは大きく、どのぐらい、建物が建ってるエリアに関しては、構造はこんなイメージですよっていうのはそこで結構、
1:36:50	はい。
1:36:52	あと、ただし、そこで決定され、
1:36:56	たとしても、それはそれでas-isとして決定されるけどね、こういうふうにまとめていくと、さらに一緒になっちゃうケースはある。はい。
1:37:08	そういう意味では151ページ。

1:37:10	の、また内田とあんまりおかしくないというところ、認識は共通供給はできてるんだとは思っております。これ、すみません、引いてって中でA. Cが違うから議論やってた時に、
1:37:24	あまり意味がない会社。
1:37:27	一緒にしといた方がどうで意味があるのかといったですね。うん。
1:37:32	そこ、その辺は田崎さんのご意見、何かあればと思うんですけども、一緒
1:37:38	イシイですか、DCがね、この緑に入るのかな。はい。
1:37:44	やっぱり疑わしきはスペクトルない図見た、次の工程に行った方がいいと思います。なるほど。そっちでまとめてまとめるという形で、はい。
1:37:56	はい。先生が、ですからさっき考え言われたように、5 ポツの結論はとにかく12 グループは8 グループ内規分、
1:38:04	これ地盤構造として、地盤構造として構築できますよと。
1:38:08	いうところで、減衰に関してはその地盤構造と同じグルーピングするのか、或いは当然中央であるとか、グループで分けるのか、同じグループで、
1:38:18	これはある意味、5 ポチの中で結論を、いや、
1:38:23	どういうふうにしますって言い切るか、或いはもう、現時点では12 グループで六法に、
1:38:29	引き渡すのかあれですね、それはどっちもありだと思いますけどね。もうこっちでとにかく今、今151で、ここのグルーピングが、はい。一応ですね。
1:38:43	要は今ね、123 グループ2になるんだよね。もともと55か6ぐらいあったやつでしょ。だから、もう三和さんでいいじゃないだけ。はい。
1:38:56	何減衰も、インダタケヤイダでももう別、もう知らない人たち。うん。
1:39:03	思えばいいんじゃないですかって。
1:39:09	ちょっともう意味すらないのよ。
1:39:15	一緒だという理由はね。やってもいいよ、減衰はそこは3グループが一緒なんですと。うん。それいいんだけど、もともと別の別の項目で違うから、三和さんなんだよさ。
1:39:28	それはそっちの構造モデルは3のままだから減衰だって3で、1にするメリットはそれほどないんだよねって、そこに1ヶ月2ヶ月議論するんですか、しないではないです結論はしないんで。はい。
1:39:44	おんなじだったらおんなじなっちゃうんだよ、どっか。
1:39:47	自然。

1:39:51	だから、いや、どうしてもね、これそうですねこれ説明して、我々すいません頭の技術的に説明したいんだったら、やっぱりその時はね、指摘審査を進めたい。我々、はい。
1:40:04	ものというより、
1:40:05	設計用の地盤モデルを構築していくというそういう視点なのか、どっちなの。
1:40:14	後は実効的にしっかり自分たちの、もう構築した上で、それを踏まえて、
1:40:23	設計用の地下構造モデルでやっていく。
1:40:30	あちら構想で我々は、はい。
1:40:34	先生、設計するための審査を受けてるんで。はい。
1:40:38	論文書いてるわけじゃないんではい。
1:40:42	そういう意味では 150 ページで我々そのAとC5 なんか議論するみたいなこの入口ん、ちょっと間違ってるのかなというのが、ここデマチの話。
1:40:58	いや、ちょっと峰渥美っていうかね。
1:41:03	いやいやカネコ工夫はまあまあって言うてくれウタダシノハラと思うんですけど、違いますねこっから間違ってますね。いや、だから、言葉の話はしなかったんですけども、ここ、ここをちょっと入口間違うと変なところに、
1:41:16	皆さんの入口でこの間、だから今日もそういう話になるんですよ、これ決定。
1:41:25	アノゴコウⅡアノのがんのところはそう間違っていないの。理解して、坂議員がヤスダに、
1:41:35	ね。そんな変わらないよねっていうのはわかるから、そういう点では 155 でこれ一緒だねってこう言ったときに、それはいろんな意見が出てくると思います。
1:41:46	はい。
1:41:48	はい。
1:41:50	ちょっと構成。
1:41:52	どういふ手法というか、そこを見直して、
1:41:56	明日ちょっと出していただきたいと。
1:41:58	そのまんま。
1:42:01	だから、
1:42:02	そしたら、
1:42:05	上です。
1:42:07	まとめたりとか、とか、減衰は一生に 1 回、
1:42:13	うん。

1:42:14	でもそれは当然そうなんだよね。
1:42:17	なぜか近くがどうか一緒だから。はい。
1:42:21	増井です。
1:42:23	なるでしょうね。
1:42:26	Vsが一緒に、ベース、Vsが一緒なのは、地下が一緒なんですよということだよね。大事じゃみんな一緒なんですと。
1:42:36	だから、
1:42:38	麻生。
1:42:40	岩石の質がみんな一緒だから、当然VS一緒になるし、原則一緒だから、精度は当然一緒だよね。だからまとめられますっていうすごいシンプルなことになるでしょう。
1:42:54	ここまで時間とわかりませんでした。申し訳ございません。そうですね。今度Vsぐらい違うと言ってるのにね。
1:43:02	仲間外れでしたので減衰だけ一緒にするっていう、次のステップをね、また変なことをオクモトするんだ。はい。そうすると、理由がちょっとね、別の理由が必要になっちゃう。はい。
1:43:13	おかしくなりますね。はい。
1:43:15	だんだん難しいなっちゃう。はい。
1:43:18	ここは、岩種速度構造で岩種一緒だから、そこは一緒と見られるという。
1:43:23	まとめ方は技術的な話をしていけばができると思ってるけれども、
1:43:29	それは今原燃が望むんですかっていうだけ。
1:43:32	いや、
1:43:35	ようやく理解できました。申し訳ございません。
1:43:41	やることってできてるから、いや、いや、できてる先がちょっと不安な不安があるんで、まさにこうですよ。いや、ここどっかで最後は一步になるん。
1:43:54	理解できる。どこでどう持っていくかっていうのはまだ描けてないというか、
1:43:59	データをつなぎ合わせるしかないんだよ。だから信頼区間ちゃんと限って言うてるじゃん。
1:44:06	面白い人たちの前。
1:44:09	いわゆる自分たちのとった信頼があるね、データに信頼がある。そんなわかってそちらのデータをつなぎ合わせたら、正当でピッキングもちゃんとできてる。
1:44:21	いや、そんなに悪くないね。
1:44:24	どうもすみません、補足ですけど、
1:44:27	あれですかその、

1:44:30	矢印、これはイワサキの検討をまだやってないんですか。
1:44:36	それやってるパターンをやってるんですけどまた変わってくるんで、いや、いや、やってるんだったらそのインプットを特定するためのことをやればいい。ただそれだけやって何を悩む。
1:44:49	我々やってる内容知らないから、どこをどうしたいと僕わかんないし、速水もわからない。
1:44:55	最後はそこをつけますか、 SHIPPING しかないところ、検討は割とシンプルで、左アビルなんですよ。
1:45:07	アビルで as-is って何っていうのがあるからそこははずなんですよって言い切っちゃうから。
1:45:13	でも何もわかってない。
1:45:14	だって as-is が何かを今、特定を 12 でやろうか市でやろうかなんていう、20% がいいですよ。うん。やろうとしてる。中身のことはない。
1:45:29	うん。今、今、もう大分私の中ではわかってきて、まずイダ 12 からなんぼになってそこからこうやっていくってちょっとわかりますけども、その結果どんな計器が出るかっちゃうのはちょっとプロに聞かないとわからないんで、
1:45:42	確認します。
1:45:45	具体的な数字を幾つにするのか、ずれちゃうかもとかそうそう影響基金とかタテに影響あるかとか、その先までいくと駄目なんで、はい。
1:45:55	うん。あんまりね、そんなシビアな、
1:46:03	ということが、
1:46:06	理解できてる。多分ね、バックアップチームはみんなわかってるんだよ。
1:46:11	こんなのでない。
1:46:12	はい。
1:46:15	ちょっとすみません 150 ページのヒグチ掛けますって言うのは、皆さんがとったデータに基づくものってしかない。なので、誰がやろうが、大体変わらない。
1:46:29	ていうだけなんだよね。
1:46:32	データだ減衰のデータっていうのは、幾つかのデータを総合して一発なんか決めないといけない。ただそいつはつなぎ合わせれば、できちゃうと、津波をシバタ、
1:46:45	うん。
1:46:46	だけなんですよ。
1:46:47	そして、
1:46:49	そこに権利しかないもの、それから論文たくさんやって、
1:46:53	繋ぎ合わせばそんなに悪くないっていうのは消え、

1:46:59	ある。
1:47:00	地下構造モデルはこんなものである。その近くをどうモデル校、
1:47:05	地下構造モデルじゃない、地下構造はね。こんなイメージですっていうのができ上がるわけだよね。
1:47:11	それが 12 なのか 8 なのか 9 なのかっていうのは、ちょっとそこで決めてくださいねっていう。
1:47:17	だけど、
1:47:18	デパートは、じゃそれをね、できるだけモデリングししたい。
1:47:24	ねっていう中で、今度、解析の世界。
1:47:30	うん。
1:47:33	でも解析の世界に入ると、さすがに細かいところまでモデリングっていうじゃなくても設計との兼ね合いで、こういうジンプでやりたいってのはいろいろ、
1:47:44	言うだけのスポットステップ世代。
1:47:49	まあ保守的だったら、今日これでいいじゃん。
1:47:52	大体 30 万できるから、まあ、まあいいんじゃないとかね。
1:47:56	そういうだけだから決まっちゃうんだよ。
1:48:00	何かなんかね、やってつけ麺を出しているんだそうね。何だかよくわかんなくなっちゃって、普通にやればいいんじゃないですか。
1:48:17	そういうことでしょ。
1:48:18	いや、だから、それ最後、
1:48:22	似てる。
1:48:24	モデルに今、実はなると思うよ。
1:48:27	町長だけがちょっと違うとかね。
1:48:32	現実的にはそうかもしれない。8 か 9 を、as-isの世界で 8 か 9 やったけど、モデリングしたら、
1:48:41	もうミナミてきちゃって、四つっていう可能性がある。でもそれはね、
1:48:47	そのような意味があるとかないとかじゃない。たまたまそうなっちゃって大丈夫かな。
1:48:54	ふうに思ってもいい。
1:48:56	パブリックを関連付けてしょうがない。
1:49:00	結果としてね。
1:49:02	でもそうなるには実はね、今やろうとしているまとめの段階で、頑張ればまとまったって言って、
1:49:08	でもそこはやらなくても自然にこういうところで、
1:49:12	一緒になってるかなっていうのも含めて言ってるんじゃない。はい。
1:49:18	どうぞ。

1:49:27	消化できてないでしょ、評価できないです。江藤。何が商売できてないかという、今下水道の人ってなってるんですけども、下水道下水道、
1:49:37	あ、そうですね。何ページ何て言ってもらってもすごいっぱいあるんだよね。
1:49:44	えっとですね。
1:49:45	今、岩盤部分の物性値等のところ 150 ページのところはここは、似てるものを集約するというので、ここは理解なんです。
1:49:55	けれども、この集約と減衰とが一緒に一緒になるっていうそういう頭になったんだというふうには思っていて、だから速度構造が、
1:50:08	同じもの＝減衰がちょっとみなせるんじゃないかと違うよということ。違う、違う、違う。
1:50:18	すいません。そこはお願いします。速度構造、地価公示にいけるんじゃないかというところは、今後グループを一つにするかもしれない。うん。うん。だからそのとき、その中で他のパラメーターが違うんだと一緒にできないから。うん。
1:50:35	その部分はちゃんと議論しなきゃいけないので。はい。いうことであるけど、ここで一緒じゃないと言ってるものについて、他で一緒だと言う必要があるか。
1:50:48	ないでしょ。はい。
1:50:50	前言ってただけっていう、まずねそ速度の話はいいよね。速度の根拠って何。
1:50:56	速度がこれミナミてるよねと。てるものを一緒にしていい根拠がない。
1:51:02	だからそれは別に、何も続く構成が
1:51:07	おんなじだから、それで 152 ページ目に、何に書いてあるでしょ。横並べたらみんなね、多少ね断層帯にある程度
1:51:22	一緒だよねと。
1:51:24	いうことなんでしょうね。だから平均的に見ても、そんなにねっていうふうだよね。
1:51:32	原水ってさ、何。
1:51:38	それがどうやら、
1:51:41	論文いわく速度らしい。
1:51:43	ちょっとそうなんだけどそもそも、要は媒質だよね。そう。そう。そうね。
1:51:51	下水、そうですね。だから、同じなんだよ。
1:51:54	ね。
1:51:54	VSのバイスなんだよ。
1:51:58	あれの組成室なんだよね。
1:52:00	で、

1:52:01	ね。
1:52:03	もうベースだって同じなんだよね。
1:52:05	さっきの岩盤物性のところで、地質は速度処理した地盤も一緒でした。それは当然、現地だって一緒でしょ。これ見るとねその総和とかね。
1:52:16	総合的に見てもね、それは一緒だもんねと。
1:52:21	データ見てもね、ほぼ一緒だよ。当然さっき1課だよ。だから、それでまとめていいと。
1:52:29	ね、まとめても別に差し支えないよねっていうくらいなんだよね。だからここで言う、皆さんがやった155とか156で何かね。
1:52:40	一生懸命やってあるけれども、そんなのさ、
1:52:45	普段ね、
1:52:46	出さなくても、ものすごくシンプルな説明ができるんで、
1:52:52	のかなあと思ったんですけど。
1:52:54	でも、
1:52:55	説明しないといけない人たち
1:53:01	警察そういう、
1:53:05	ではない。いやそう思います。僕心配。
1:53:10	うん。それはそうです。全然オガセですけど、よく私が書いたんですけど、よく書いて。でも、とはいえ、現実行って、そんなじゃ速度の切り替わりの深さとかで変わるもんかって言ったらそうじゃないってことはさっき一番が一緒って言ったけど、さらにその隣まで見たら、
1:53:28	減衰としては一緒と見れるんじゃないのっていうところまでやったのが、今157。
1:53:34	レベルはうちが一緒になる。
1:53:38	はい。はい。もう、同じ当然の結果が示されて、
1:53:44	これは何か、
1:53:48	いう感じなんでしょう。
1:53:53	ちょっと蛇足かもしれん。
1:53:55	イソダっていうのは私は気持ちが悪くて、ばらつきがそういう同じ地盤におけるバラバラしたデータ、同じ場所のデータとはいえると。うん。ただ、
1:54:08	このファンドの中で、ばらつくようなことで、違うものがありえないんですよってこと。
1:54:20	であって、そこら辺、
1:54:23	能はアノカネダ言うように、細かくああたこうだ言わなくても、見てもわかりませんっていうことだ。
1:54:31	だからこれ、常識になってたんで、当然ね生産にばらつきはあるけれども、

1:54:37	それはばらつきだっというのもあるんですね。
1:54:40	設定だったときですよ。先ほどみたいなのはそちら1階中央っというぐらい、結局トダシバ含めていっぱいしたんですが、今の話でさっきの地下構造が同じやつ、A1F、Gだけ、
1:54:54	私は庄田磯。
1:54:56	例えば、Aが1個だけそれはAのデータでas-isでいいじゃんというところが、今の議論だと。
1:55:01	思いましたけれども、そういったときに、ばらつきをどこにいるでかかったかわからない。単独データでやるのは、それで果たしてその部署っという、データがないからですね。そうです。ちょっとすみませんCIRいっぱい取ってっなりますよね。はい、わかりました。了解。
1:55:19	あそこいっぱい取る。
1:55:22	だからそれはサイトウれる津波の話。そうですね。こういう話。
1:55:30	はい。
1:55:31	だから、Aもね、FとJAと一緒にだったら、同じポイントの中に含まれるけど、Vsは1じゃないと言ってるわけだよね。
1:55:42	だから、そういう意味で一緒じゃないっというかね、発信できるほど類似してない。これ地下構造が違うな。はい。すごいね、そうするとね総合的な下水っというのも微妙に違ってても、
1:55:56	っということだよね。はい。
1:56:00	ただそれだけでも全体の傾向は、大きな波は理由だけで、そうですね。そうですね。ちょっとね、こっちはね。
1:56:10	そんなにね、
1:56:11	すごい変なふうになってないから、当然類似してくるのっというのは収束できるけど、
1:56:18	言うだけだよね。
1:56:21	ですけど、なので、
1:56:23	次の分析を、
1:56:26	全域ではなく1になったとしても、そのときの評価において、こういう特性がある状態になっておっ、この主席自体はわからないから報告をしますよっという、
1:56:40	検討ができる、現在同じです。はい。そういうことをしないとイケないなと思っっていないはずですよ。そうですねそれから、次。
1:56:48	はい。最初のあれでいいんだよ。そうです。
1:56:58	すいません。時間唾しまして申し訳ございません。
1:57:01	毎回申します。
1:57:04	はい、村越専門家チームがしっかり。

1:57:13	セキ。
1:57:13	疇津って何か説明がね。
1:57:16	体調が高で一番悩んじゃう。
1:57:18	多分私が一番遅いな。へえ。
1:57:30	いや、だからね、ロジック。
1:57:35	うん。だから原則の方から外れないと。
1:57:40	はい。
1:57:41	会長、原則論を外していく。
1:57:45	多くの問題だと。
1:57:47	特に北方、はい。はい。はい。
1:57:51	考えです。
1:57:52	19人でやればいいんだよ。
1:57:58	はい。同じだったんです。2000、結構一緒になっちゃう。
1:58:05	社長の四方わかりました。ステージアオキですけど、そうすると、やっぱりポポツのところが出入口の150ページぐらい頑張ってますねはい。あと150、556。
1:58:18	はい。
1:58:19	これももうちょっとはい。はい。
1:58:22	ここでここで必要な箇所ですね、その次の羽根横江線をつなぐときに使う、使う話の通りで、どうだという話をすることになる。
1:58:31	同じ時間、
1:58:33	あと、
1:58:35	関係します157から150円。はい。はい。それを踏まえて160、159ページ以降ぐらい。はい。はい。
1:58:46	さらに100、ゴコウ値の最終
1:58:49	の最終結論としてマークバグが出てきて、再構築に先になるんですよ、我々もわかりやすいから。はい、わかりました。
1:59:01	はい。ちょっと次の方入ります。
1:59:04	最後ちょっと時間もあれですけど、6ポチのポチのところですね、現段階で、なお、6ポチの日、C、172ページのCなんかも全くちょっと書き直さないかん。
1:59:16	思ってます。今日の議論の中をまず、何か一部でも説明、いや、この1枚もんで方方向性を書くぐらいデータをつけるような状況ではないと思っ てますね。はい。
1:59:30	こんなことをしたいというところを文書で書くぐらい。
1:59:35	もしくはもうなしでもいいのかもしれない。6ポツでまとめていくと、今後 やっていくという

1:59:40	形で分けなくてもいいかもしれないですよ。内容はちょっとアマノ。
1:59:45	下のグラフに合わせての、地下構造の、
1:59:54	イナダモデルとか、地下構造の様子だよね。はい。それをそう書くいのをちゃんと整理し、しますっていうのはそうです。1 事業だんになりますね。
2:00:04	はい。
2:00:06	はい。それじゃオダです。今の話を踏まえて、例えば 172 ページの別紙参照シンボサンポココヤマクシダそれもなしです。もちろんヨシモト。
2:00:24	はい。
2:00:25	はい。
2:00:28	はい、瀬川です。
2:00:31	2 番目ですけど後、こっちもずれ規制庁側からこれだけはこういう問題は、
2:00:39	特にないですか。
2:00:43	なければ、主要を全体通して豆腐
2:00:46	帰り、
2:00:49	要点、今日の話をしてもらう。
2:00:55	平間。
2:00:59	それでは鳥飼。
2:01:03	だーっと。
2:01:12	6 ページ、都丸の際ですね、これ主計の方に生産話がちょっと混乱するので、最後、整合いたしまして説明とも整合いただき、
2:01:23	両方ページ。
2:01:25	のところ、徒競走亜流とか処理の説明の、結構漏ですけども、これあれですね、グループごとの
2:01:37	すいません、表彰に対して、それぞれ
2:01:42	はい。
2:01:43	9 ページ目と。
2:01:53	うん。いつもアシダ検層を三つの機械、
2:01:58	10 ページでございますが、この期間、
2:02:06	うーん。
2:02:07	14 ページ。
2:02:09	準備しようが、高周波のアノシライ増がないというところのこの説明ですねこれを、
2:02:21	ちゃんと書き下すということとそれからここはえっとですね、このニシダ自体ってますけどもアノヒガシ。
2:02:32	旧オオノアノデータも踏まえた記載を記載すると、ということだと思います。そうですね。その振り返りだとすぐに断面的、

2:02:43	そもそも、既往データの信頼性っていうかどういう色なので、どういう特徴が非常に認識をするんだっていう相談をしっかりと、
2:02:54	それにあたっては、もともと3地点と言ってるんだから見つかってて、
2:02:59	しっかりと全体語れるようにしてくださいっていうことなんです。はい。はい。
2:03:03	はい。その通りでございますありがとうございます。
2:03:08	等で、その時に新しいSR継承のやり方と、いう率とかそういうところも含めながら左ちょっと語っているといったところです。
2:03:24	14 ページか。
2:03:29	量的にこれを追加データを踏まえた更新が、更新箇所というのがわかります。
2:03:42	ありがとう。
2:03:52	はい。
2:03:55	そうですね。どうも。
2:03:58	44 フクヤマねはい。うん。
2:04:03	はい。
2:04:15	ですけれどもまず横、
2:04:18	断層のA系と直下断層を、があるんですねこれの影響確認の対象施設というのが、
2:04:29	要するに、ずっとですね、ちょっと断面図つけて、最近がならないというのがわかるように、記載を検討するということでございます。
2:04:41	地震観測記録を用いた同定につきまして水、ミツイ兵衛等、
2:04:49	リニア、これは、
2:04:51	ちゃって、
2:04:53	本日、ちょっと
2:04:57	そういう状況なのかわからないので、はい。
2:05:02	今日の時系列で話をされてるような気もするんですけど、そうするとバラバラと話が佐伯するような気がするんで、資料の順番で見えていたんですけど。うん。
2:05:13	それで言うと、3 ポツ、
2:05:19	はい。
2:05:21	ポツの、
2:05:23	はい。
2:05:24	表になっている、17 ページ以降のところの、
2:05:28	兵頭っていうのは、結局どういう、
2:05:35	井戸議員ですけど、はい。
2:05:40	私も、それぞれの

2:05:42	これはそうですねはい。
2:05:43	それ、
2:05:45	何か
2:05:49	あれですね、
2:05:51	クマガイ青、
2:05:53	それぞれの表層の状況です。はい。高岸では、そういうものに使うかっていうことを。そうです。本日、
2:06:00	うん。後日、ここも全部登場人物一通りっていうことで、
2:06:11	はい。
2:06:14	はい。で、
2:06:16	明らかに、
2:06:19	毎年同じ値を考えていること。
2:06:39	4、
2:06:58	ちょっと、
2:06:59	どうかということで、
2:07:02	お話したところですけど、これ、それから、102 ページの 9 番ですか地主の傾きを、
2:07:14	これも気づいて小さいとされてるみたいですね。ここの正確に言いたいことがあるということで、いただいたり、いただいたところでございますが、これも、
2:07:30	ここで話せばね。
2:07:33	で、5 ポツのところですね、これ
2:07:37	は、現在のですね、岩盤の速度構造の類似でここはマーケティングといったしまして、あたかもですね伊佐店長のデータの
2:07:52	ような形にはなってるんですけども、ここの記載はして 150、56 は 254 ページは、その前段で、150。
2:08:05	集約した行動に対しての物性の確認といったような構成で見直したいというふうに考えてございます。
2:08:18	の話。
2:08:21	抑え、
2:08:26	の、
2:08:28	もともとのグループの絵がありますけれどもこの理解版といいますか、集約した形としての既存のゴコウと最後に、やはり入れるべきだということでございます。
2:08:43	1124 グループをですね、施設ごとにやるのがわかり、工事上の分、本人が、この資料の中で、ちゃんとできてないところはちょっと改めて参ります。

2:08:56	これだね。
2:08:59	これも言ったね。
2:09:01	で、172 ページでございますけれども、今後秋田構造も税呉を作っていく流れについてですね、本前段の整合がとれない部分も摘出ほぼ
2:09:16	ということでございます。とですね、同じ 5 ページ以降のところはこれは会議資料から削除ということにします。
2:09:24	以上でございます。
2:09:26	はい、田村です。
2:09:29	ちょっと考えた 42 ページのFグループの盗難の箱のタテの扱いの話。
2:09:41	お願いします。はい。これちょっと、断層が直接あるところは、先ほど触れさせていただきます。井内。はい。
2:09:54	一応、小玉ですけども、
2:09:56	そこだけじゃなくて、こちらもちろん、
2:10:01	はい。
2:10:02	伊勢ヤマザキほか、
2:10:05	振り返り、或いはこの資料全体に対して、
2:10:08	この谷川お願いします。
2:10:11	規制庁カミデですけど、振り返りは会合で、
2:10:16	どんな感じになるかなっていうのでとりあえず説明時間ってどれぐらい。
2:10:21	各校シンボいいですか。
2:10:22	当然等ございます。今 30 分で申し込ませさせていただいております。まず、ちょっとその範疇のD等をご説明するかなと思ってるところでございます。
2:10:32	30、規制庁から 30 分も、
2:10:36	どんな感じで説明するんですかね、要は今回掛ける 12 ですよデータが多いってどういうイメージと私は考えてございます。私もですね、データ整備のところの信頼性の話ですとかこのところはちょっときっちりご説明しなきゃいけないので、ここは、
2:10:52	フルで御説明されると思ってます。そのあとですね 3 ポツこういう形でのデータ振り分けということ等を追加のところ求人説明させていただきつつですね 4 ポツはですね、データの整備の最初の
2:11:07	ここは、
2:11:08	説明さしてあげて、あとデータのところはですね、について前回から追加したところをご説明するとともに、ちょっとピッえーとね、あれですね、特異的なところといたしまして、
2:11:23	あと次 14 をご説明いたしまして方針の時にそれぞれ 12 グループやってるんだけれども、個別に説明するのは、の追加のところと 94 と、いう

	ようなところが適切なんじゃないのかなと思っていたところでございます。
2:11:36	あとはぽつぽつと御説明
2:11:39	んじゃ
2:11:40	のイメージを持っております。
2:11:47	うん。規制庁神様アノ用ポツをどれだけさわるかがポイントなのかな。次14だけで、44だけでいい。
2:11:57	競争はあんまり変わらない。
2:12:00	別に流動化処理であろうと、根本であると、特に変わらない感じですか。
2:12:06	ですね、金城アガワさわることで流動化処理の話が入ってくるので、あの地域にすることで、はい。ごめんなさい。今日もヒアリングは何だった。
2:12:18	そうですね。はい。今の資料ってのはそうなりますけど、そういうような話を入れたときには、混在してるときには、こういうような状況でっていう話をしてもらわないと、本来はそんなところありますね。はい。弁護士そういうところの考え方みたいな、こういう構成してる場合こういう評価します。評価というか、考えをしますよっていう。
2:12:38	一つの頭の方針のところに出てくると思うんでそそういう考えで確認してくださいね。こっちはまず何かしっかりと直していただいて、その方針ごとに、うん。
2:12:48	どのグループがそういう特徴的なところかっていうのをバックアップしないと、そしたら、飛ばしちゃ駄目って、何のために12グループが出したんだというふうになっちゃうとかですとか、
2:13:01	どっか説明会でその点では
2:13:04	止っていう必要もないですけど、
2:13:07	中央地盤は大体まとまっていく傾向だっただけのは肋骨の最初の方に見えるからまだいいんですけどね。
2:13:15	東側地盤の特徴は、
2:13:21	USCどうするみたいな話ありましたけど、
2:13:25	まとめられるならまとめたいと思いつつも、前々から言っているように、PDAの方との関係を述べ、終わらないと。
2:13:35	どう扱うのかですか。そんな、
2:13:39	統合した場合の影響としてどの程度の数字の違いになるのかみたいなことは話しないといけない。
2:13:48	そこら辺の論点というのをしっかりといえるような、
2:13:54	グループの紹介をしていただくっていう必要があるのかなと。

2:14:00	でそうした時にその論点が、平然とはその運転に入れませんと。
2:14:08	いう。
2:14:09	こと。
2:14:10	なんですよ、きっと。
2:14:13	あれですよ。日本原燃オガセ逆に流動化処理で何かいろいろまざってるところなのかエージェントだから、むしろ論点というか、はい。寄り道すべき箇所というか、思ってるんですけど。はい。
2:14:26	このナカムラ以前に、この特徴として説明すること。はい。はい、その特徴としては、
2:14:35	ていうのでちょっとポイントポイントは
2:14:39	飛ばすのではなくて、つまみ食いしながらそうですね、聞きました、全体をそれぞれ説明するっていう形にしてもらいたい。
2:14:50	説明飛ばされちゃうとこちらから一つ一つじゃないよね。
2:15:03	生きてた方がいいです。あと他、
2:15:08	すると、あとは、
2:15:10	スケジュールです。
2:15:13	明日午前中聞きしております、そこまでで修正して、そうらしい、
2:15:23	確認してもらうちょうと大きく変えてるんでちょっと確認してもらおうとわかる規制庁カミデですけどちょっと会合の準備の関係で、午前中というのは、検証いただきたいんですよ。はい、承知いたしました。
2:15:38	いや、そうです。
2:15:42	後でお出ししていくっていうのがちょっと、かなりもういいかなと。
2:15:47	思いますので、
2:15:48	じつとは、
2:15:51	不安はないかということで俺なら俺らが、
2:15:55	それはそれはもちろんあるんですけども、
2:16:00	もうここをしっかりとしっかりとやればですね、しっかりと作業させて午前中に出させていただきます。はい。はい。はい。
2:16:10	はい。
2:16:13	スケジュールも明日の午前中ということで、施設ヤマザキですけど他ないですか。ええ。
2:16:22	つけ根側からは、
2:16:27	では、特にないようでしたらこれで本日のヒアリングを終了します。お疲れ様でした。ありがとうございました。